

Title	鈴木正崇略歴・主要研究業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2015
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.79 (2015.) ,p.127- 162
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	2014年度定年退職者略歴・著作目録一覧
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000079-0127

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2014年度定年退職者略歴・著作目録一覧

鈴木正崇（すずき まさたか） 略歴・主要研究業績

生年月日 1949年（昭和24年）11月21日生（東京都台東区上野）

学歴

- 1956年 3月 神田寺幼稚園卒園
- 1956年 4月 東京学芸大学附属竹早小学校入学
- 1962年 3月 東京学芸大学附属竹早小学校卒業
- 1962年 4月 慶應義塾中等部入学
- 1965年 3月 慶應義塾中等部卒業
- 1965年 4月 慶應義塾高等学校入学
- 1968年 3月 慶應義塾高等学校卒業
- 1968年 4月 慶應義塾大学経済学部入学
- 1972年 3月 慶應義塾大学経済学部卒業
- 1973年 4月 慶應義塾大学文学部学士入学〔東洋史専攻〕
- 1974年 4月 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程入学〔東洋史専攻〕
- 1976年 3月 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了
- 1976年 4月 慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程入学〔東洋史専攻〕
- 1979年 3月 慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了

職歴

- 1972年 4月 株式会社 三菱銀行入社
- 1973年 3月 株式会社 三菱銀行退職
- 1979年 4月 東京工業大学工学部人文社会群助手〔文化人類学〕
- 1986年 3月 東京工業大学工学部人文社会群助手退職
- 1986年 4月 慶應義塾大学文学部専任講師〔社会学専攻〕
- 1988年 4月 慶應義塾大学文学部助教授
- 1996年 4月 慶應義塾大学文学部教授
- 2015年 4月 慶應義塾大学名誉教授

塾内役職

- 1993年 10月 慶應義塾大学地域研究センター副所長（2003年9月迄）

- 2003年 10月 慶應義塾大学東アジア研究所副所長 (2015年3月迄)
 2007年 10月 慶應義塾大学大学院社会学研究科学習指導 (2009年9月迄)
 1997年 4月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員 (2015年3月迄)
 2015年 4月 慶應義塾大学東アジア研究所客員所員 (現在に至る)

非常勤講師

- 1985年 4月 慶應義塾大学文学部 [社会学特殊] (1985年9月迄)
 1986年 4月 放送大学 [地域社会学] (1988年3月迄)
 1989年 4月 法政大学文学部 [民俗学] (1990年3月迄)
 1990年 4月 慶應義塾大学環境情報学部・総合政策学部 [文化人類学] (1994年3月迄)
 1990年 4月 立教大学文学部 [地理学特講] (1992年3月迄)
 1992年 4月 立教大学文学部 [共通講義] (1993年3月迄)
 1992年 4月 國學院大學文学部 [民俗学特論] (1993年3月迄)
 1994年 4月 立教大学文学部 [地理学演習] (1995年3月迄)
 1995年 4月 立教大学文学部 [地理学特講] (1996年3月迄)
 1997年 4月 東京大学文学部・大学院人文研究科 [地域宗教学] (1998年3月迄)
 1998年 4月 東北大学文学部・大学院文学研究科 [宗教学人類学/宗教学特論] (1999年3月迄)
 1998年 4月 筑波大学第一学群人文学類 [民俗学史] (1999年3月迄)
 1998年 4月 武蔵大学人文学部 [アジア宗教文化論] (2000年3月迄)
 2013年 4月 東洋大学大学院社会学研究科 [文化人類学特講Ⅷ] (2014年3月迄)

共同研究員等

- 1979年 4月 国立民族学博物館共同研究員 (1984年3月迄)
 1986年 4月 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員 (1996年3月迄)
 1986年 4月 国立民族学博物館研究協力者 (現在に至る)
 1995年 3月 国際日本文化研究センター共同研究員 (1996年3月迄)
 1995年 4月 フランス国立極東学院共同研究員 (現在に至る)
 1997年 11月 貴州省社会科学院客座研究員 [中国] (現在に至る)
 1999年 3月 フランス国立社会科学高等研究院客員教授 (1999年4月迄)
 2000年 4月 国立民族学博物館共同研究員 (2002年3月迄)
 2007年 4月 国立歴史民俗博物館共同研究員 (2011年3月迄)
 2010年 5月 日韓次世代フォーラム諮問教授 [韓国東西大学校日本研究センター内] (2012年5月迄)
 2011年 10月 山東大学哲学与社会發展学院客座教授 [中国] (現在に至る)

学外委員等

- 1981年 4月 台東区商業近代化協議会調査員 (1982年3月迄)
 1998年 6月 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 (2000年5月迄)
 1999年 1月 文部省 学術審議会専門委員 [科学研究費分科会] (2000年1月迄)

- 1999年 1月 ユネスコ・アジア文化センター委員 (2000年5月迄)
- 2000年 4月 日本藝術文化振興会 国立劇場専門委員会委員 (2003年3月迄)
- 2003年 6月 日本学術振興会 大学評価委員会評価員 (2005年12月迄)
- 2004年 1月 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員 (2005年12月迄)
- 2004年 8月 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 (2006年7月迄)
- 2007年 1月 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員 (2007年12月迄)
- 2007年 6月 山形県世界遺産育成学術研究会委員 (2008年3月迄)
- 2007年 11月 鳥海山史跡調査報告書作成委員会委員 [山形県遊佐町] (2008年3月迄)
- 2008年 1月 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員 (2008年12月迄)
- 2008年 11月 山形県世界遺産学術研究会委員 (2009年3月迄)
- 2008年 11月 史跡「鳥海山大物忌神社境内」保存管理計画策定委員 [山形県遊佐町] (2011年3月迄)
- 2009年 4月 日本藝術文化振興会 民俗芸能公演・琉球芸能公演専門委員会委員 (2012年3月迄)
- 2011年 4月 宗教文化教育推進センター連携委員 (現在に至る)
- 2011年 8月 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員・国際事業委員会書面審査員 (2013年7月迄)
- 2011年 10月 第22期・第23期日本学術会議連携会員 (現在に至る)

学会役員等

- 1985年 11月 民俗芸能学会 理事・『民俗芸能研究』編集委員 (現在に至る)
- 1988年 4月 日本民族学会 評議員 (1990年3月迄)
- 1989年 10月 日本民俗学会 理事 (1992年4月迄)
- 1992年 4月 日本民族学会 『民族学研究』編集委員 (1994年3月迄)
- 1992年 9月 日本宗教学会 評議員 (1998年9月迄)
- 1993年 6月 「宗教と社会」学会 『宗教と社会』編集委員長 (1998年6月迄)
- 1993年 9月 日本宗教学会 『宗教研究』編集委員 (1999年9月迄)
- 1994年 4月 熊野学研究センター (仮称) 構想実行委員会委員 (1995年3月迄)
- 1994年 10月 日本山岳修験学会 評議員 (1999年11月迄)
- 1995年 4月 日本印度学仏教学会 評議員 (2001年6月迄)
- 1995年 10月 日本民俗学会 理事・『日本民俗学』編集委員 (2001年9月迄)
- 1997年 7月 アジア民族造形学会 副会長 (2001年9月迄)
- 1998年 4月 日本民族学会 評議員 (2002年3月迄)
- 1998年 9月 日本宗教学会 理事 (2001年9月迄)
- 1999年 10月 日本山岳修験学会 理事 (2007年11月迄)
- 2001年 3月 駒澤宗教学研究会 理事 (現在に至る)
- 2001年 6月 日本印度学仏教学会 理事 (現在に至る)
- 2001年 9月 国立歴史民俗博物館第二期展示委員 (2002年3月迄)
- 2001年 9月 日本宗教学会 常務理事 (現在に至る)
- 2003年 4月 国際宗教史宗教学会2005年東京大会実行委員実行委員 (2006年3月迄)

- 2004年 4月 日本文化人類学会 評議員 (2008年3月迄)
- 2004年 10月 日本民俗学会 理事・『日本民俗学』編集委員 (2007年9月迄)
- 2006年 2月 神奈川大学21世紀COEプログラム外部評価委員
- 2006年 4月 民族藝術学会 理事 (2009年3月迄)
- 2007年 2月 神奈川大学21世紀COEプログラム外部評価委員
- 2007年 11月 日本山岳修験学会 副会長 (2011年9月迄)
- 2008年 6月 日本宗教民俗学会 委員 (2014年6月迄)
- 2008年 7月 三田社会学会 会長 (2011年7月迄)
- 2010年 4月 日本文化人類学会 評議員 (2014年3月迄)
- 2010年 10月 日本南アジア学会 常務理事 (2014年9月迄)
- 2011年 4月 説話・伝承学会 委員 (2013年3月迄)
- 2011年 4月 宗教文化教育推進センター 連携委員 (現在に至る)
- 2011年 6月 国際熊野学会 委員 (現在に至る)
- 2011年 10月 日本山岳修験学会 会長 (現在に至る)
- 2012年 10月 日本民俗学会 理事・『日本民俗学』編集委員長 (2014年9月迄)
- 2012年 10月 第47回日本文化人類学会研究大会実行委員長 (2013年6月迄)

学位

文学博士 慶應義塾大学 (1995年3月7日)

『スリランカの宗教と文化に関する人類学的研究—シンハラ人を中心として』

賞罰

義塾賞: 『スリランカの宗教と社会—文化人類学的考察』 (春秋社, 1996) の業績に対して (1997年11月25日)

第11回木村重信民族藝術学会賞: 『ミャオ族の歴史と文化の動態—中国南部山地民の想像力の変容—』 (風響社, 2012) の業績に対して (2014年9月21日)

研究業績一覧

著書 (単著)

『中国南部少数民族誌—海南島・雲南・貴州—』 三和書房, 全251頁, 1985年8月25日

『山と神と人—山岳信仰と修験道の世界—』 淡交社, 全198頁, 1991年12月6日

『スリランカの宗教と社会—文化人類学的考察—』 春秋社, 全1016頁, 1996年2月29日

『祭祀と空間のコスモロジー—対馬と沖縄—』 春秋社, 全616頁, 2004年2月29日

『神と仏の民俗』 吉川弘文館, 全358頁, 2001年2月20日

『女人禁制』 吉川弘文館, 全230頁, 2002年3月1日

『ミャオ族の歴史と文化の動態—中国南部山地民の想像力の変容—』 風響社, 全560頁, 2012年4月28日

『山岳信仰—日本文化の根底を探る—』 中央公論新社, 全305頁, 2015年3月25日

著書（共著）

- 『スリランカの祭』（岩田慶治・井狩彌介・鈴木正崇・関根康正共著）工作舎，全176頁，1982年9月10日
『西南中国の少数民族—貴州省苗族民俗誌—』（鈴木正崇・金丸良子共著）古今書院，全282頁，1985年5月16日

著書（編著）

- 『大地と神々の共生—自然環境と宗教—』昭和堂，全262頁，1999年10月25日
『東アジアの近代と日本』慶應義塾大学出版会，全451頁，2007年9月29日
『神話と芸能のインド—神々を演じる人々—』山川出版社，全256頁，2008年8月31日
『東アジアの民衆文化と祝祭空間』慶應義塾大学出版会，全456頁，2009年12月25日
『東アジアにおける宗教文化の再構築』風響社，全484頁，2010年12月15日
『南アジアの文化と社会を読み解く』慶應義塾大学出版会，全476頁，2011年11月30日
『森羅万象のささやき—民俗宗教研究の諸相—』風響社，全998頁，2015年3月27日
『アジアの文化遺産—過去・現在・未来—』慶應義塾大学出版会，全472頁，2015年8月20日

著書（共編著）

- 『東アジアのシャーマニズムと民俗』（宮家準・鈴木正崇編）勁草書房，全394頁，1994年11月15日
『ラーマヤナの宇宙—伝承と民族造形—』（坂田貞二・金子量重・鈴木正崇編）春秋社，全256頁，1998年1月30日
『民族で読む中国』（可児弘明・国分良成・鈴木正崇・関根政美編）朝日新聞社，全444頁，1998年3月25日
『仮面と巫俗の研究—日本と韓国—』（鈴木正崇・野村伸一編）第一書房，全482頁，1999年5月22日
『〈血縁〉の再構築—東アジアにおける父系出自と同姓結合—』（吉原和男・鈴木正崇・末成道男編）風響社，全356頁，2000年11月30日
『拡大する中国世界と文化創造—アジア・太平洋の底流—』（吉原和男・鈴木正崇編）弘文堂，全506頁，2002年12月15日

著書（監修）

- 『祭・芸能・行事大辞典』（小島美子・鈴木正崇・三隅治雄・宮家準・宮田登・和崎春日監修）朝倉書店，全2200頁，2009年11月20日
『日本の山岳信仰』（別冊宝島2373号）宝島社，2015年8月（印刷中）

翻訳

- 『羽黒修験道』（宮家準監訳）弘文堂，全344頁，1985年5月30日

論文

- 「波照間島の神話と儀礼」『民族学研究』日本民族学会，42巻1号，24-58頁，1977年6月30日
「空間構成論—修験集落八菅山を中心として—」『民族学研究』日本民族学会，43巻3号，221-250頁，

1978年12月31日

- 「南西諸島に於ける方位観の研究—空間認識の視点から—」『人文地理』人文地理学会, 30巻6号, 61-74頁, 1978年12月28日
- 「八重山群島に於ける時間認識の諸相」『南島史学』南島史学会, 13号, 40-67頁, 1979年2月10日
- 「来訪神祭祀の世界観—赤マタ・白マタ・黒マタ再考—」東京都立大学社会人類学会(編)『社会人類学年報』弘文堂, 5号, 69-105頁, 1979年5月30日
- 「荒神神楽にみる自然と人間」『日本民俗学』日本民俗学会, 125号, 1-17頁, 1979年10月1日
- 「象の巡行—スリランカの古都キャンディのペラヘラ祭—」『季刊 民族学』民族学振興会千里支部, 17号, 38-48頁, 1981年7月20日
- 「キャンディ・エサラ・ペラヘラ祭—その構成と意味についての考察—」岩田慶治(編)『スリランカの宗教と文化』国立民族学博物館, 107-133頁, 1982年3月31日
- 「スリランカ南部農村の宗教儀礼」岩田慶治(編)『スリランカの宗教と文化』国立民族学博物館, 7-52頁, 1982年3月31日
- 「対馬・木坂の祭祀と村落空間」『日本民俗学』日本民俗学会, 140号, 1-20頁, 1982年3月31日
- 「世界観の解説—沖縄・波照間島の世界観—」宮家準・山岸健・平野敏政(編)『生活の学としての社会学—人間・社会・文化—』総合労働研究所, 299-322頁, 1982年5月01日
- 「東大寺修二会の儀礼空間」『民族学研究』日本民族学会, 47巻1号, 71-100頁, 1982年6月30日
- 「対馬・青海の祭祀と村落空間」『稲・舟・祭—松本信廣先生追悼論文集—』六興出版, 465-489頁, 1982年9月15日
- 「対馬・仁位の祭祀と村落空間」『日本民俗学』日本民俗学会, 151号, 1-24頁, 1984年1月31日
- 「中国貴州省 苗族の村」『季刊 民族学』千里文化財団, 27号, 100-109頁, 1984年1月20日
- “Rituals of Rural Highland Village in Sri Lanka”, Keiji IWATA & Yasuke IKARI eds., *Religions and Cultures of Sri Lanka & South India*. National Museum of Ethnology (国立民族学博物館), pp. 67-98, 1984年3月31日
- 「山伏の峰入—大峰山の峰入りと灌頂—」宮家準(編)『山の祭りと芸能』上巻, 平河出版社, 42-63頁, 130-132頁, 1984年7月10日
- 「山伏の託宣と修法—葉山の神懸りと託宣—」宮家準(編)『山の祭りと芸能』下巻, 平河出版社, 134-148頁, 1984年7月10日
- 「茶の湯の象徴的世界—儀礼としての茶の湯—」『比較文化雑誌』東京工業大学比較文化研究会, 2号, 104-123頁, 1984年12月1日
- 「シンハラ人の成女式」岩田慶治(編)『子ども文化の原像—文化人類学的考察—』日本放送出版協会, 363-391頁, 1985年3月25日
- 「死と社会, そして自然—シンハラ人の死についての諸考察—」岩田慶治・佐々木高明・石川栄吉(編)『生と死の人類学』講談社, 177-204頁, 1985年10月25日
- 「スリランカの神観念と儀礼についての諸考察—シーニガマのデヴォル崇拝を中心として—」岩田慶治(編)『スリランカと南インドの宗教と文化』国立民族学博物館, 19-60頁, 1986年3月31日
- 「『相模國八菅山略縁起』考」『民俗と歴史』民俗と歴史の会, 18号, 1-7頁, 1986年4月25日
- 「弓神楽と土公祭文—備後の荒神祭祀を中心として—」『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 3号, 7-29頁,

- 1986年5月20日
「日本の修験道」『文化人類学』[特集 宗教的シンクレティズム] アカデミア出版会, 3号, 90-103頁,
1986年6月30日
- 「スリランカの悪霊ガラーGarāについての考察」『民族学研究』日本民族学会, 51巻1号, 73-80頁,
1986年6月30日
- 「茶事の意味と構造」『茶湯』思文閣出版, 20号, 48-56頁, 1986年9月25日
- 「社会変動下の民衆文化とエリート文化—スリランカのカタラガマ祭祀を中心として—」『哲学』三田哲
学会(慶應義塾大学文学部), 83集, 137-172頁, 1986年11月25日
- 「民族芸術学の方法—内と外を越えて—」『民族藝術』講談社, 3号, 199-201頁, 1987年3月25日
- 「祭祀・村落・空間—対馬・豆殿のケース—」『民俗宗教』[特集 漂泊と定住のはざま] 創樹社, 1号,
173-201頁, 1987年4月1日
- 「荒神神楽にみる現世と他界」守屋毅(編)『祭りには神々のパフォーマンス』力富書房, 127-174頁,
1987年5月10日
- 「時間とコスモロジー」山岸健(編)『日常生活と社会理論—社会学の視点—』慶應通信, 307-333頁,
1987年7月1日
- 「祭祀空間の中の性—後戸の神をめぐって—」『文化人類学』[特集 性と文化表象] アカデミア出版会,
4号, 232-249頁, 1987年10月30日
- 「龍船節についての一考察—貴州省・苗族の事例研究—」『漢民族を取り巻く世界』学習院大学東洋文化
研究所, 105-122頁, 1988年3月31日
- 「山岳信仰と村落—ハヤマ籠りをめぐって—」『季刊 自然と文化』[特集 古代祭祀の時空] 日本ナショ
ナルトラスト, 21号, 32-42頁, 1988年6月15日
- 「婚姻儀礼の社会・宗教的側面—スリランカのシンハラ人の事例から—」吉田禎吾・宮家準(編)『コス
モスと社会—宗教人類学の諸相—』慶應通信, 303-336頁, 1988年6月20日
- 「山住みの民—広西壮族自治区の瑤族—」『季刊 民族学』千里文化財団, 45号, 104-111頁, 1988年7
月20日
- 「神楽と鎮魂—荒神祭祀にみる神と人—」守屋毅(編)『芸能と鎮魂』[大系 仏教と日本人 第7巻]
春秋社, 93-137頁, 1988年9月20日
- 「非日常的世界の構成—茶の湯の人類学的考察—」櫻井徳太郎(編)『日本民俗学の伝統と創造—新・民
俗学の構想—』弘文堂, 251-280頁, 1988年11月10日
- 「修正会」長尾雅人・井筒俊彦・福永光司・上山春平・服部正明・梶山雄一・高崎直道(編)『日本思想
1』(岩波講座 東洋思想 12巻) 岩波書店, 116-152頁, 1989年2月15日
- 「大峰山戸開式」『仏教歳時記—5月・峰入—』第一法規出版, 21-36頁, 1989年4月20日
- 「聖地における宗教の融合と対立—スリランカのカタラガマの事例をめぐって—」中央学術研究所(編)
『宗教間の協調と葛藤』佼成出版社, 203-228頁, 1989年5月15日
- 「天道念仏に関する宗教民俗学的考察」小西正捷(編)『船橋の天道念仏』船橋市教育委員会, 167-205
頁, 1990年3月31日
- 「修正会と芸能—王朝時代を中心として—」『芸能』桜楓社, 32巻3号, 17-23頁, 1990年3月10日
- 「白褲瑤の銅鼓」『季刊 民族学』千里文化財団, 52号, 74-83頁, 1990年4月20日

- 「弓神楽の祭祀と祭文—備後の荒神・土公神信仰の事例から—」鈴木道子（編）『語りと音楽』東京書籍, 15-36頁, 1990年4月16日
- 「悠紀主基小考—大嘗祭の二元的世界観—」『國学院雑誌』國學院大學, 91巻7号, 97-111頁, 1990年7月15日
- 「神がかり—備後の荒神祭祀から—」網野善彦・大隈和雄・小沢昭一・服部幸雄・宮田登・山路興造（編）『修験と神楽』[大系 日本歴史と芸能—音と映像と文字による—第8巻]平凡社, 99-130頁, 1990年8月20日
- 「東の国・西の国—悠紀国と主基国—」國學院大學院友会（編）『大嘗祭を考える』桜楓社, 34-73頁, 1990年10月5日
- 「対馬における村落空間の社会史—豆酏と木坂の事例から—」網野善彦・谷川健一・森浩一・大林太良・宮田登（編）『玄界灘の島々』[海と列島文化 第3巻]小学館, 432-463頁, 1990年12月10日
- 「大嘗祭試考—王権の人類学的考察—」『民俗宗教』[特集 王権とシャマニズム]東京堂出版, 3号, 1-46頁, 1990年12月15日
- 「儀礼的殺害の論理—羽黒山松例祭—」『哲学』三田哲学会（慶應義塾大学文学部）, 91集, 439-461頁, 1990年12月30日
- 「八重山群島に於ける時間認識の諸相」植松明石（編）『神々の祭祀』[環中国海の民俗と文化—2]凱風社, 442-483頁, 1991年1月31日
- 「スリランカの王権神話と現代」内藤雅雄（編）『近現代南アジアにおける社会集団と社会変動』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 33-60頁, 1991年2月28日
- 「村落における祭祀と社会構造—対馬・吉田の事例を中心に—」『儀礼文化』儀礼文化学会, 15号, 126-146頁, 1991年3月25日
- 「カマド神」『悠久』[特集 家の神々と祭]桜楓社, 45号, 66-77頁, 1991年4月25日
- 「スリランカの教訓—国家と民族対立—」『創文』創文社, 325号, 16-20頁, 1991年9月1日
- 「人類学と仏教」奈良康明（監修）『ブツダから道元へ—仏教討論集—』東京書籍, 395-410頁, 1992年5月7日
- 「銅鼓と魚と馬—水族の端節にみる世界観—」『季刊 自然と文化』[特集 儀礼と生命原理 中国西南少数民族の祭祀]日本ナショナルトラスト, 37号, 14-27頁, 1992年6月15日
- 「苗族の神話と祭祀—鼓社節を中心として—」『日中文化研究』[特集 神話と祭祀]勉誠社, 3号, 111-118頁, 1992年7月10日
- 「アジアの民俗宗教の比較研究」『宗教研究』日本宗教学会, 66巻1号, 125-148頁, 1992年6月30日
- 「対馬の山岳信仰」『文明のクロスロードMuseum Kyushu』[特集 東アジアの山岳宗教]博物館等建設推進九州会議, 41号, 39-45頁, 1992年7月31日
- 「大峰修験」『季刊 自然と文化』[特集 出羽三山信仰と山岳信仰胎内化の実現]日本ナショナルトラスト, 38号, 39-41頁, 1992年9月15日
- 「日本の神楽における龍と蛇—荒神信仰を中心として—」アジア民族文化造形研究所（編）『アジアの龍蛇—造形と象徴—』雄山閣, 41-57頁, 1992年11月5日
- 「創られた民族—中国の少数民族と国家形成—」飯島茂（編）『せめぎあう「民族」と国家』アカデミア出版会, 211-238頁, 1993年5月30日

- 「大地への祈り—北インド・ミティラー地方の祭り—」『早蕨』メディカルレビュー社, 16号, 43-47頁, 1993年10月1日
- 「モウコウとマンガオー苗族の正月の来訪者—」『季刊 民族学』千里文化財団, 67号, 94-104頁, 1994年1月20日
- 「ケーララ地方の祭りと芸能」辛島昇(編)『ドラヴィダの世界』東京大学出版会, 83-96頁, 1994年3月11日
- 「祭りと象徴」佐々木宏幹・村武精一(編)『宗教人類学—宗教文化を解説する—』新曜社, 79-89頁, 1994年6月25日
- 「女人禁制の宗教論—山岳信仰と性—」『日本の美学』[特集 性] ぺりかん社, 21号, 28-55頁, 1994年7月15日
- 「神話・芸能・儀礼に見るナーガースリランカの場合—」『日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』慶應義塾大学(日吉), 14号, 55-98頁, 1994年9月
- 「天皇と米—大嘗祭をめぐる—」『フォークロア』本阿弥書店, 4号, 66-69頁, 1994年9月1日
- “Sri Lankan Studies in Japan: Social Sciences and Humanities”, 『南アジア研究』日本南アジア学会, 6号, 113-137頁, 1994年10月5日
- 「苗族の来訪神—中国・広西融水苗族自治県の春節—」宮家準・鈴木正崇(編)『東アジアのシャーマニズムと民俗』勁草書房, 362-391頁, 1994年11月15日
- 「インド・スリランカの祭祀と芸能」『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 20号, 149-153頁, 1994年11月30日
- 「民族学と民俗学」『日本民俗学』日本民俗学会, 200号, 145-161頁, 1994年11月30日
- 「スリランカの山岳信仰と聖地」小西正捷・宮本久義(編)『インド・道の文化誌』春秋社, 167-181頁, 1995年2月3日
- 「修験道の教義と実践—人類学的アプローチ—」日本仏教研究会(編)『日本の仏教』[特集 アジアの中の日本仏教] 法蔵館, 2号, 202-217頁, 1995年3月1日
- 「スリランカの聖地と巡礼—スリー・パーダを中心として—」石井溥(編)『南アジア, 東南アジアにおける宗教, 儀礼, 社会—『正統』, ダルマの波及・形成と変容—』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 173-203頁, 1995年3月31日
- 「民族の境界—少数民族—」曾士才・西澤治彦・瀬川昌久(編)『アジア読本 中国』河出書房新社, 39-45頁, 1995年4月25日
- 「銅鼓の儀礼と世界観についての—考察—中国・広西壮族自治区の白禱瑤の事例から—」『史学』三田史学会(慶應義塾大学文学部), 64巻, 3・4号, 13-31頁, 1995年4月30日
- 「蛙と民俗社会—岩手県宮古市津軽石の又兵衛祭りをめぐって—」伊勢民俗学会(編)『民俗学の視座—堀田吉雄先生カジマヤー記念論文集—』光書房, 496-519頁, 1995年9月23日
- 「日本の神楽」『日中文化研究』[特集 日本芸能の源流] 勉誠出版, 8号, 113-123頁, 1995年12月1日
- 「立山信仰—天空の浄土の盛衰—」『季刊 民族学』千里文化財団, 75号, 6-21頁, 1996年1月20日
- 「瑤族の民族動態に関する諸考察—中国・広西大瑤山の調査から—」《金子量重先生古稀記念論集》刊行委員会(編)『アジアの民族造形文化』微蔵館, 94-113頁, 1996年1月20日
- 「祭りと水」福井勝義(編)『水の原風景—自然と心をつなぐもの—』TOTO出版, 233-265頁, 1996年

3月25日

- 「苗族春節的来訪神」『民族藝術』広西芸術研究所（南寧），44期3号，185-198頁，1996年9月
- 「神楽と儺戯—日中比較の可能性を求めて—」『日中伝統演劇比較討論会・中日演劇比較討論会報告書』（上海），21-24頁，1996年10月22日
- 「橋をめぐる神事—雨宮の祭りを中心に—」『悠久』[特集 神の橋]，67号，24-39頁，1996年11月25日
- 「森町の舞楽と祭祀の基盤にある世界観について」『森町史 資料編』（舞楽・民俗芸能・民俗資料）森町史編さん委員会，5号，5-24頁，1997年3月31日
- 「人の一生—理念的背景—」小西正捷（編）『アジア読本 インド』河出書房新社，54-62頁，1997年7月10日
- 「スリランカのラーマーヤナ」坂田貞二・金子量重・鈴木正崇（編）『ラーマーヤナの宇宙—伝承と民族造形—』春秋社，221-251頁，1998年1月31日
- 「『民族意識』の現在—ミャオ族の正月—」可児弘明・国分良成・鈴木正崇・関根政美（編）『民族で読む中国』朝日新聞社，143-182頁，1998年3月31日
- 「観音と性」『国文学—解釈と教材の研究—』[特集 女のテクスチュアリティ] 学燈社，43巻5号，10-16頁，1998年4月10日
- 「通過儀礼」赤田光男・福田アジオ（編）『時間の民俗』[講座 日本の民俗学6] 雄山閣，205-224頁，1998年4月20日
- 「伝統儀礼の変容と観光化」杉本良男（編）『アジア読本 スリランカ』河出書房新社，203-211頁，1998年10月20日
- 「日本民俗学の現状と課題」福田アジオ・小松和彦（編）『民俗学の方法』[講座 日本の民俗学1] 雄山閣，268-284頁，1998年11月20日
- 「総説 日本民俗学の現在」『日本民俗学』日本民俗学会，216号，1-14頁，1998年11月30日
- 「祖先祭祀の変容—中国貴州省苗族の鼓社節の場合—」宮家準（編）『民俗宗教の地平』春秋社，301-316頁，1999年3月13日
- 「神楽の構成と世界観—銀鏡神楽の体系的考察—」鈴木正崇・野村伸一（編）『仮面と巫俗の研究—日本と韓国—』第一書房，399-467頁，1999年5月22日
- 「日本の神楽と韓国のクッ」鈴木正崇・野村伸一（編）『仮面と巫俗の研究—日本と韓国—』第一書房，469-479頁，1999年5月22日
- 「茶事の構造」戸田勝久（編）『茶事・茶会』[茶道学大系第3巻] 淡交社，397-427頁，1999年7月24日
- 「大地から神へ」鈴木正崇（編）『大地と神々の共生—自然環境と宗教—』昭和堂，6-28頁，1999年7月25日
- “The Present Condition of Japanese Studies: From the Perspective of Folklore Studies”, *Asian Research Trends*, The Center for East Asian Cultural Studies for UNESCO, Tokyo, No. 11, pp. 20-23, 2000年5月
- 「追儺の系譜—鬼の変容をめぐって—」松岡心平（編）『鬼と芸能—東アジアの演劇形成—』森話社，87-121頁，2000年7月7日
- 「巫女と男巫のはざま—神子と法者を中心に—」脇田晴子，アンヌ・ブッシィ（編）『アイデンティティ・周縁・媒介』吉川弘文館，193-211頁，2000年8月1日

- 「中国貴州省の祭祀と仮面—徳江儺堂戯の考察—」石田秀実（編）『東アジアの身体技法』勉誠出版、317-393頁、2000年10月10日
- 「来訪する神霊—中国・広西のモウコウとマンガオ—」星野紘・野村伸一（編）『歌・踊り・祈りのアジア』勉誠出版、66-95頁、2000年11月1日
- 「苗族の巫女さんたち—中国・湖南の場合—」星野紘・野村伸一（編）『歌・踊り・祈りのアジア』勉誠出版、152-175頁、2000年11月1日
- 「仮面と境界—スリランカの場合—」廣田律子（編）『アジアの仮面—神々と人間のあいだ—』大修館書店、213-254頁、2000年11月10日
- “Le chamanisme Japonais en Transition”, *Identités, Marges, Médiations: Regards Croisés sur La Société Japonaise*, édités par, Jean-Pierre Berthon, Anne Bouchy, Pierre F. Souyri, *Études Thématique*, No. 10, EFEO (École française d'Extrême-Orient), Paris, pp. 225-249, 2001年4月
- 「スリランカの龍」『アジア遊学』[特集 ドラゴン・ナーガ・龍] 勉誠出版、28号、23-32頁、2001年6月5日
- 「文化人類学の再生産—慶應義塾大学の場合—」『哲学』[特集 文化人類学の現代的課題] 三田哲学会（慶應義塾大学文学部）、107集、293-310頁、2002年1月21日
- 「死者と生者—中国貴州省苗族の祖先祭祀—」『日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』慶應義塾大学（日吉）、29号、55-102頁、2002年10月31日
- 「漢族と瑤族の交流による文化表象—湖南省の女文字『女書』を中心として—」吉原和男・鈴木正崇（編）『拡大する中国世界と文化創造—アジア・太平洋の底流—』弘文堂、55-87頁、2002年12月15日
- 「女人禁制と現代」赤坂憲雄・中村生雄・原田信男・三浦佑之（編）『女の領域・男の領域』[いくつもの日本VI] 岩波書店、57-84頁、2003年2月6日
- “Rites, Royauté et Villages: Un Exemple de Culte des Daiva au Tulunadu dans le Sud du Karnataka de l'Inde”, *Mythes Symboles Literature III* 『神話・象徴・文学』III, 楽瑯書房（名古屋）、79-109頁、2003年12月25日
- 「女神信仰の現代的変容—中国貴州省侗族の薩媽節をめくって—」野村伸一（編）『東アジアの女神信仰と女性生活』慶應義塾大学出版会、209-273頁、2004年1月20日
- 「祭祀伝承の正統性—岩手県宮古市の事例から—」『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、77巻1号、185-235頁、2004年1月28日
- 「首狩りからツーリズムへ—ナガランドの現在—」『インド考古研究』インド考古学研究会、25号、41-70頁、2004年6月30日
- 「宗教の生命・環境観」池上良正・島蘭進・末木文美士・小田淑子・鶴岡賀雄・関一敏（編）『生命—生老病死の宇宙—』（岩波講座 宗教 7巻）岩波書店、59-89頁、2004年8月26日
- 「先住民の表象と言説—スリランカのウェッダーの場合—」『人間と社会の探究 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』58号、1-17頁、2004年11月30日
- 「冬の峰のコスモロジー」島津弘海・北村皆雄（編）『千年の修験—羽黒山伏の世界—』新宿書房、254-283頁、2005年4月10日
- 「儀礼と祭」山下晋司（編）『文化人類学入門—古典と現代をつなぐ20のモデル—』弘文堂、244-256

頁, 2005年4月15日

「修験道霊地—山林抖擻—」『国文学—解釈と鑑賞—』[特集 聖地と巡礼] 至文堂, 70巻5号, 87-94頁, 2005年5月1日

“Le Saumon et la Fête de Matabei: Généalogie et Légitimité des Traditions Rituelle: l'exemple de Miyako”, *Légitimités, Légitimations: La Construction de L'autorité au Japon*, coordonné par Anne Bouchy, Guillaume Carré et François Lachaud, *Études Thématiques*; EFEO (l'École française d'Extrême-Orient), No. 16; École française d'Extrême-Orient, Paris, pp. 241-278, 2005年12月

「民族・宗教から見た東アジア」国分良成(編)『世界のなかの東アジア』慶應義塾大学出版会, 103-146頁, 2006年2月10日

「流転するラーマヤナ—叙事詩と説話と芸能—」『説話・伝承学』説話・伝承学会, 14号, 232-253頁, 2006年3月15日

「舞楽と民俗—静岡県周智郡森町の事例から—」『儀礼文化』儀礼文化学会, 37号, 59-78頁, 2006年3月30日

「鮭と人の生活史—山形県鮎川郡遊佐町の事例から—」『人間と社会の探究 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』61号, 87-108頁, 2006年3月31日

「日本の祭祀芸能における遠山霜月祭の位置」『遠山霜月祭の世界—神・人・ムラのよみがえり—』飯田市美術博物館, 94-100頁, 2006年10月1日

「象徴人類学」綾部恒雄(編)『文化人類学20の理論』弘文堂, 126-143頁, 2006年12月15日

「古い世相史」新谷尚紀・岩本通弥(編)『都市の生活リズム』[都市の暮らしの民俗学 第3巻] 吉川弘文館, 91-119頁, 2006年12月20日

「念仏と修験—千葉県船橋市の天道念仏の事例から—」福田晃・山下欣一(編)『巫覡・盲僧の伝承世界』第3集, 三弥井書店, 86-135頁, 2006年12月20日

「祖先祭祀的変移」貴州黔南文学藝術研究所(主編)『採風論壇』中国文联出版社, 7号, 292-305頁, 2006年12月

「ラーマヤナの伝播と変容—海と陸のシルクロードの芸能誌—」『「海の道」からみたアジアの太鼓の伝統的伝承システムの形成に関する国際共同研究』[科学研究費補助金(文部科学省・日本学術振興会)基盤研究(B)報告書] 岡山大学山本宏子研究室, 156-213頁, 2007年5月7日

「神楽の中の目連とその比較」野村伸一(編)『東アジアの祭祀伝承と女性救済—目連救母と芸能の諸相—』風響社, 469-503頁, 2007年8月30日

「修験道と唱導」『国文学—解釈と鑑賞—』[特集 唱導文化の展望] 至文堂, 72巻10号, 64-73頁, 2007年10月1日

“Mountain Religion and Gender”, *SANGAKU SHUGEN (Japanese Mountain Religion) Special Issue of IAHR (Association for the History of Religion)*, NIHON SANGAKU SHUGEN GAKKAI (Association for the Study of Japanese Mountain Religion) Special Issue, pp. 57-83, 2007年11月3日

「山岳信仰とジェンダー」『山岳修験』別冊 [IAHR特集] 日本山岳修験学会, 39-54頁, 2007年11月3日

「ハヌマーンとサルタヒコ—構造論的比較の試み—」篠田知和基(編)『神話・象徴・言語』楽瑯書院(名古屋), 125-168頁, 2008年3月25日

- 「空間の表象としての人形—山形県飽海郡遊佐町の場合—」『哲学』[特集 文化人類学の現代的課題II] 三田哲学会（慶應義塾大学文学部），119集，1-34頁，2008年3月28日
- 「ウェッダー—スリランカの先住民の実態と伝承—」金基淑（編）『南アジア』[講座 世界の先住民族—ファースト・ピープルズの現在— 第3巻]，明石書店，192-212頁，2008年3月30日
- “Bhūta and Daiva: Changing Cosmology of Rituals and Narratives in Karnataka”, *Senri Ethnological Studies (Music and Society in South Asia: Perspectives from Japan)*; Osaka, National Museum of Ethnology（国立民族学博物館），No. 71, pp. 51-85, 2008年3月31日
- 「神がかりから芸能へ—カルナータカのプーター—」鈴木正崇（編）『神話と芸能のインド—神々を演じる人々—』山川出版社，155-179頁，2008年8月31日
- 「神話と芸能のインド—神々を演じる人々—」鈴木正崇（編）『神話と芸能のインド—神々を演じる人々—』山川出版社，3-9頁，2008年8月31日
- 「南インドのシャーマニズム—カルナータカの場合—」市川裕・松村一男・渡辺和子（編）『宗教史とは何か』上巻（宗教史学論叢13）リトン，347-370頁，2008年9月30日
- 「熊野信仰と湯立神楽」『宗教民俗研究』日本宗教民俗学会，18号，26-46頁，2008年11月20日
- 「日本宗教と儀礼テキスト」阿部泰郎（編）『日本における宗教テキストの諸位相と統辞法』名古屋大学大学院文学研究科，107-112頁，2008年12月31日
- 「大峯山の修験道—自然と共に生きる信仰の実践—」『季刊 民族学』千里文化財団，127号，3-29頁，2009年1月20日
- 「聖地・熊野の真髓」篠田知和基（編）『天空の神話—風と鳥と星—』楽瑯書院（名古屋），139-206頁，2009年3月25日
- 「宗教演劇から世界遺産へ—南インド・ケーララのクーリヤーッタム—」国際宗教研究所（編）『現代宗教2009』[特集 変革期のアジアと宗教] 秋田書店，232-254頁，2009年6月1日
- 「慶應義塾における文化人類学の研究と教育」『三田社会学』[特集 慶應義塾の社会学—回顧と展望—] 三田社会学会（慶應義塾大学文学部），14号，58-70頁，2009年7月1日
- 「生と死の超克—熊野からのメッセージ—」『国文学 解釈と鑑賞』[特集 続・「生と死」を考える] ぎょうせい（編集 至文堂）74巻8号，132-145頁，2009年8月1日
- 「苗族的神話與現代—以中國貴州省黔東南為中心—」『人類学與人群的遷徙與重構—國立台湾大學人類學系慶祝成立60週年國際會議 論文集—』國立台湾大學人類學系（台北），45-53頁，2009年11月13日
- 「神話の変貌と再構築—中国貴州省黔東南の苗族を中心に—」篠田知和基（編）『神話・象徴・言語』II，楽瑯書院（名古屋），263-276頁，2009年12月20日
- 「祭祀と世界観の変容—中国貴州省苗族の龍船節をめぐる—」『法学研究』慶應義塾大学法学研究会，83巻2号，181-254頁，2010年2月28日
- 「湯立神楽のコスモロジー—遠山霜月祭を中心に—」篠田知和基（編）『水と火の神話—「水中の火」—』楽瑯書院（名古屋），311-360頁，2010年3月20日
- 「女人禁制をめぐる諸問題」『石川県の歴史遺産セミナー講演録』（白山 第5回～8回）66-80頁，2010年3月31日
- 「中国貴州省の観光化と公共性—ミャオ族の民族衣装を中心として—」藤田弘夫（編）『東アジアにおける公共性の変容』慶應義塾大学出版会，303-329頁，2010年6月25日

- 「苗族の神話と現代—以中国貴州省黔東南為中心—」『苗学研究』貴州省苗学会（貴陽）19卷3号，28-33頁，2010年9月20日
- 「『澁澤民間学』の生成—澁澤敬三と奥三河—」『国際常民文化研究機構年報』神奈川大学国際常民文化研究機構，1号，170-182頁，2010年10月30日
- 「日本民俗学的現状と課題」王晓葵・何彬（主編）『現代日本民俗学的理論与方法』学苑出版社（北京），1-20頁，2010年10月
- 「祖先祭祀の禪変—1997年参加烏流寨鼓藏節紀実—」中国人民政治協商會議雷山県委員会（編）『雷山苗族鼓藏節』中国文化出版社（北京），235-249頁，2010年11月
- 「ミャオ族の神話と現代—貴州省黔東南を中心に—」鈴木正崇（編）『東アジアにおける宗教文化の再構築』風響社，147-211頁，2010年12月15日
- 「スリランカの女神信仰—パッティニを中心として—」吉田敦彦・松村一男（編）『アジア女神大全』青土社，327-344頁，2011年2月25日
- “Kumano Beliefs and Yudate Kagura Performance”, *Shugendō: The History and Culture of Japanese Religion: L'Histoire et la Culture d'une Religion Japanese*, édités par Bernard Faure, D. Max, Moerman, Gaynor Sekimori, *Cahiers d'Extreme-Asie*, EFEO (École française d'Extrême-Orient), Centre de Kyoto, No. 18, pp. 195-222, 2011年2月
- 「熊野における聖地の特性と道の宗教性の変容」鈴木正崇（編）『道の宗教性と文化的景観』慶應義塾大学文学部鈴木正崇研究室，8-54頁，2011年3月1日
- 「修験霊山の『場の力』の根源をさぐる—出羽三山を事例として—」宮家準（編）『山岳修験への招待—霊山と修行体験—』新人物往来社，31-46頁，2011年3月14日
- 「バリ島村落の儀礼と世界観に関する考察—トゥンガナン・ブグリシンガンのウサバ・サンバーの事例から—」篠田知和基（編）『愛の神話学』楽瑯書院（名古屋），345-393頁，2011年3月25日
- 「少数民族の伝統文化の変容と創造—中国貴州省トン族の場合—」国際宗教研究所（編）『現代宗教2011』[特集 現代文化の中の宗教伝統] 秋田書店，258-282頁，2011年5月31日
- 「祈りのコスモロジー」『遺跡学研究』日本遺跡学会，8号，48-57頁，2011年11月20日
- 「山岳信仰の展開と変容—烏海山の歴史民俗学的考察—」『哲学』三田哲学会（慶應義塾大学文学部），128集，447-514頁，2012年3月23日
- 「湯立神楽の意味と機能—遠山霜月祭の考察—」『国立歴史民俗博物館研究報告』国立歴史民俗博物館，174集，247-269頁，2012年3月30日
- 「韓国の正月の祭りに関する省察—蝸島（ウイド）の場合—」『国際常民文化研究機構年報』神奈川大学国際常民文化研究機構，3号，127-136頁，2012年9月28日
- 「神楽の中の巫者」菅原壽清（編）『木曾御嶽信仰とアジアの憑霊文化』岩田書院，351-376頁，2012年10月1日
- 「中国ミャオ族の洪水神話」篠田知和基（編）『神話・象徴・図像』II，楽瑯書院（千葉），51-66頁，2012年12月20日
- 「中世の戸隠と修験道の展開—『顕光寺流記』を読み解く—」篠田知和基（編）『異界と常世』楽瑯書院（千葉），239-330頁，2013年3月25日
- 「山岳信仰から修験道へ—戸隠の場合—」『儀礼文化学会紀要』儀礼文化学会，1号，109-132頁，2013

年3月25日

- “Kagura: Dramatic Interplay between Nature and Humanity”, *Dharma World*, Kōsei Shuppan Sha (佼成出版社), No. 40, pp. 12-15, 2013年4月
- 「南インドの村落における儀礼と王権—カルナータカ州南部のプータの事例から—」『人間と社会の探究 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』75号, 149-185頁, 2013年5月20日
- 「南インド・ケララ州の祭祀演劇—クーリヤーッタム—」野本寛一・赤坂憲雄(編)『暮らしの伝承知を探る』[フィールド科学の入口] 玉川大学出版部, 204-217頁, 2013年10月25日
- 「民俗社会の持続と変容—福岡県篠栗町若杉の事例から—」『人間と社会の探究 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』76号, 83-140頁, 2013年12月15日
- 「バリ島村落の儀礼と世界観に関する考察(2)—トゥングナン・ブグリンシンガンのウサバ・カサの事例から—」篠田知和基(編)『神話・象徴・図像』III, 楽瑯書院(千葉), 103-184頁, 2013年12月25日
- 「日本における目連の受容—仏教と民俗のはざまで—」篠田知和基(編)『神話のシルクロード』楽瑯書院(千葉), 209-254頁, 2014年3月25日
- 「伝承を持続させるものとは何か—比婆荒神神楽の場合—」『国立歴史民俗博物館研究報告』国立歴史民俗博物館, 186集, 1-29頁, 2014年3月26日
- 「仏教寺院の近代化と地域社会—福岡県篠栗町の事例から—」『人間と社会の探究 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』77号, 177-211頁, 2014年5月30日
- 「中国福建省の祭祀芸能の古層—『戯神』を中心として—」『国際常民文化研究叢書』第7巻(アジア祭祀芸能の比較研究), 231-272頁, 2014年10月31日
- 「シルクロードから学んだもの—私の研究小史—」篠田知和基(編)『神話・象徴・儀礼』楽瑯書院(千葉), 234-316頁, 2014年12月25日
- 「東アジアと南アジアのはざまで—地域研究の行方を探る—」慶應義塾大学東アジア研究所(編)『アジア・アフリカ研究—現在と過去の対話—』[慶應義塾大学東アジア研究所10周年(地域研究センター30周年)記念講演集] 慶應義塾大学出版会, 111-152頁, 2015年2月28日
- 「創世神話と王権神話—アジアの視点から—」『古事記學』第1号(國學院大學21世紀研究教育計画委員会研究事業成果報告論集) 國學院大學研究開発推進機構・研究開発推進センター, 113-214頁, 2015年3月10日
- 「神話から伝説へ, そして史実へ—西南中国のヤオ族の場合—」鈴木正崇(編)『森羅万象のささやき—民俗宗教研究の諸相—』風響社, 255-279頁, 2015年3月27日
- 「アニミズムの地平—岩田慶治の方法を越えて—」鈴木正崇(編)『森羅万象のささやき—民俗宗教研究の諸相—』風響社, 931-948頁, 2015年3月27日
- 「スリランカの呪術とその解釈—シーニガマのデウォルを中心に—」久保田浩・江川純一(編)『「呪術」の呪縛』上巻(宗教史学論叢19)リトン, 195-231頁, 2015年3月31日
- 「神話と儀礼の海洋性—中国ミャオ族の場合—」野村伸一(編)『東アジア海域文化の生成と展開—(東方地中海)としての理解—』風響社, 603-635頁, 2015年3月31日
- 「中国貴州省・水族の民族文化に関する—考察—一端節・銅鼓・水書を中心に—」『史学』第84巻1・2・3・4号(文学部創設125年記念号・第1分冊), 三田史学会(慶應義塾大学文学部), 211-249頁, 2015年

4月28日

- 「近代化の中の仏教寺院と地域社会の変容—福岡県篠栗町の事例から—」『東北民俗』東北民俗学会, 49号, 1-22頁, 2015年6月20日
- 「アジアの文化遺産—過去・現在・未来—」鈴木正崇(編)『アジアの文化遺産—過去・現在・未来—』慶應義塾大学出版会, i-xvi頁, 2015年8月(印刷中)
- “Continuités et Transformations de la Société Locale: Le Fait coutumier dans le Village de Wakasugi”, *Le Vivre Ensemble à Sasaguri, une Commune de Kyūshū. Dans l'Entrelacs des Dynamiques du Dedans et du Dehors—Études d'Ethnologie du Japon*, édité par, Anne BOUCHY, *Cahiers d'Extrême-Asie*, EFEO (École française d'Extrême-Orient), Centre de Kyoto, No. 22, pp. 25-113. 2015年6月
- “Modernisation des Temples Bouddhiques et Société Locale: Le Nanzō-in de Sasaguri”, *Le Vivre Ensemble à Sasaguri, une Commune de Kyūshū. Dans l'Entrelacs des Dynamiques du Dedans et du Dehors—Études d'Ethnologie du Japon*, édité par, Anne BOUCHY, *Cahiers d'Extrême-Asie*, EFEO (École française d'Extrême-Orient), Centre de Kyoto, No. 22, pp. 255-425. 2015年6月

研究ノート・報告・その他

- 「うわなり打ち神事」『まつり』まつり同好会(名古屋), 25号, 73-80頁, 1975年3月15日
- 「柳田國男『日本の祭』の宗教学的再構成の試み」『宗教民俗』まつり同好会(名古屋), 1号, 7頁, 1976年3月20日
- 「国頭村安田のシメグ」『まつり通信』まつり同好会(名古屋), 186号, 2-3頁, 1976年7月20日
- 「波照間島の儀礼と干支」『宗教研究』日本宗教学会, 50巻3号, 190-191頁, 1976年12月30日
- 「八重山の時間感覚」『沖縄文化』沖縄文化協会, 47号, 1-9頁, 1977年4月30日
- 「近親相姦の禁忌をめぐる諸学説」『フォクロア』ジャパンパブリッシャーズ, 1号, 159-160頁, 1977年7月11日
- 「色のシンボリズム(1)」『フォクロア』ジャパンパブリッシャーズ, 2号, 164-165頁, 1977年9月18日
- 「色のシンボリズム(2)」『フォクロア』ジャパンパブリッシャーズ, 3号, 146-147頁, 1978年1月30日
- 「人間諸科学と無文字社会—川田順造『無文字社会の歴史』に寄せて—」『史学』三田史学会(慶應義塾大学文学部), 48巻4号, 79-88頁, 1978年3月31日
- 「民俗時間論」『フォクロア』ジャパンパブリッシャーズ, 4号, 131-134頁, 1978年5月15日
- 「八菅山の地理と伝承」宮家準(編)『修験集落 八菅山』愛川町(神奈川県), 7-28頁, 1978年6月30日
- 「西城町中野の年番大神楽について」『郷土』西城町郷土研究会(広島県), 12号, 23-33頁, 1978年6月30日
- 「来訪神祭祀の世界観—西表島古見の事例から—」『フォクロア』伊勢民俗学会, 36-38号, 43-50頁, 1978年11月28日
- 「神観念と祭祀組織—住谷一彦・クライナー, ヨーゼフ『南西諸島の神観念』の検討—」『沖縄文化』沖縄文化協会, 51号, 101-114頁, 1979年3月31日
- 「西金砂神社祭礼記」『まつり通信』まつり同好会, 221号, 4-5頁, 1979年6月20日
- 「波照間島の盆とムシャーマ」『まつり通信』まつり同好会, 218号, 5-6頁, 1979年8月20日

- 「山と人、そして生と死」『忍ぶ草—榎本雅己 遺稿・追悼集—』KCC（慶應義塾中等部山岳会），336-339頁，1979年9月23日
- 「茶の湯の人類学」『淡交』淡交社，33巻12号，150-151頁，1979年12月1日
- 「久高島の神話と儀礼」『宗教研究』日本宗教学会，53巻3号，58-59頁，1980年3月31日
- 「木之本町杉野のオコナイ」『まつり文化』まつり文化史の会，9号，8-10頁，1980年3月26日
- 「精霊・魔術・王国」『遊』工作舎，9-16頁，1981年7月4日
- 「海南島民俗ノート」京都大学人類学研究会（編）『季刊 人類学』講談社，12巻4号，198-240頁，1981年12月5日
- 「対馬・木坂八幡宮の祭祀と神観念」まつり同好会（編）『まつりと芸能の研究』第II集，錦正社，347-372頁，1982年2月20日
- 「豊玉町仁位の祭祀と伝承」岩田慶治（編）『環東シナ海文化の基礎構造に関する研究—老岐・対馬の実態調査—』国立民族学博物館，117-164頁，1982年3月31日
- 「谷中文化試考」『台東区商業近代化計画報告書』（資料編）東京商工会議所，95-96頁，1982年3月31日
- 「岩木山神社七日堂の神事」『あしなか』山村民俗の会，174号，1-4頁，1982年6月
- 「西城の鍛冶とその周辺」『郷土』西城町郷土研究会，24号，21-22頁，1982年7月15日
- 「大戸の神楽その他」『郷土』西城町郷土研究会，24号，31-33頁，1982年7月15日
- 「仏陀の教えに生きる」岩田慶治・井狩彌介・鈴木正崇・関根康正『スリランカの祭』工作舎，65-80頁，1982年9月10日
- 「スリランカの自然と民族」岩田慶治・井狩彌介・鈴木正崇・関根康正『スリランカの祭』工作舎，165-173頁，1982年9月10日
- 「シンポジウム 神と仏の島」岩田慶治・井狩彌介・鈴木正崇・関根康正『スリランカの祭』（岩田慶治・井狩彌介・関根康正と対談）工作舎，33-61頁，1982年9月10日
- 「近畿・中国・四国の祭り風土記」『祭りのふるさと』（美しい日本16）世界文化社，105-109頁，1982年
- 「神人交流する祭—花祭りと修験の祭—」田中日佐夫（編）『神々と仏—祭とマンガラー—』講談社，125-139頁，1983年1月30日
- 「新年一年の初めの意識—南アジア（スリランカ）—」『季刊 民族学』民族学振興会千里事務局，23号，74頁，1983年1月20日
- 「ある僧との対話—スリランカの人と仏教—」『月刊百科』平凡社，247号，21-25頁，1983年5月1日
- 「対馬・佐護の天道信仰」『まつり通信』まつり同好会（名古屋），271号，7頁，1983年8月20日
- 「雲南省民俗ノート」京都大学人類学研究会（編）『季刊 人類学』講談社，14巻3号，202-252頁，1983年9月20日
- 「生きている銅鼓—中国・昆明の雲南省博物館—」『月刊みんぱく』国立民族学博物館，14頁，1983年10月15日
- 「対馬・仁位の年中行事」『まつり通信』まつり同好会，275号，5-6頁，1983年12月20日
- 「対馬・佐護湊の民間信仰」『民俗と歴史』民俗と歴史の会，15号，1-22頁，1983年12月25日
- 「陸前浜の修験と法印神楽—雄勝町大浜旧市明院を中心として—」『あしなか』[修験特輯II] 山村民俗の会，183号，28-35頁，1983年12月
- 「スリランカの仮面」『まつり通信』まつり同好会（名古屋），269号，2-4頁，12頁，1983年6月20日

- 「②蘆笙舞と敬酒歌」『歴史公論』雄山閣, 100号, 132-133頁, 1984年3月1日
- 「スリランカの女神信仰」『宗教研究』日本宗教学会, 57巻4号, 301-302頁, 1984年3月30日
- 「③雷公山の麓で」『歴史公論』雄山閣, 101号, 120-121頁, 1984年4月1日
- 「④祖先祭祀と招魂」『歴史公論』雄山閣, 102号, 112-113頁, 1984年5月1日
- 「陸前浜・法印神楽資料—旧市明院蔵『御神楽之大事』—」『民俗と歴史』民俗と歴史の会, 16号, 1-19頁, 1984年6月25日
- 「⑤姉妹飯」『歴史公論』雄山閣, 103号, 148-149頁, 1984年6月1日
- 「⑥木鼓と龍船節」『歴史公論』雄山閣, 104号, 118-119頁, 1984年7月1日
- 「⑦穀物倉のある風景」『歴史公論』雄山閣, 105号, 124-125頁, 1984年8月1日
- 「⑧神樹と墓と」『歴史公論』雄山閣, No. 106号, 127-128頁, 1984年9月1日
- 「⑨香炉山の爬坡節」『歴史公論』雄山閣, 107号, 147-148頁, 1984年10月1日
- 「雲南省彝族民俗調査ノート」(金丸良子と共著)『東アジアの古代文化』大和書房, 41号, 169-188頁, 1984年10月31日
- 「⑩西族の村」『歴史公論』雄山閣, 108号, 134-135頁, 1984年11月1日
- 「⑪青苗・花苗・老漢族」『歴史公論』雄山閣, 109号, 132-133頁, 1984年12月1日
- 「⑫布依族と銅鼓」『歴史公論』雄山閣, 110号, 129-130頁, 1985年1月1日
- 「⑬撒尼族の火把節」『歴史公論』雄山閣, 111号, 130-131頁, 1985年2月1日
- 「楓と蝶と鼓—貴州・苗族の神話と祭祀—」『グリーンパワー』森林文化協会, 74号, 38-41頁, 1985年2月2日
- 「志賀谷のオコナイ」『まつり通信』まつり同好会(名古屋), 291号, 5-6頁, 1985年4月20日
- 「民間信仰—研究動向(昭和58年-59年)—」『日本民俗学』日本民俗学会, 160号, 64-79頁, 1985年7月31日
- 「世の思想—琉球世界観の時間論的考察—」『歴史手帖』[特集 沖縄の神々]名著出版, 13巻10号, 10-16頁, 1985年10月1日
- 「少数民族の世界」『ピュクシス』東京工業大学生協同組合, 2号, 4-5頁, 1986年1月1日
- 「山中に出会う仏と神」『智山報』真言宗智山派, 2号, 14-15頁, 1986年2月28日
- 「『鬼』を解説すると」『キンダー・ブック』フレーベル館, 42巻11号, 31頁, 1986年2月1日
- 「スリランカ」日本民族学会(編)『日本の民族学 1964~1983』弘文堂, 240-242頁, 1986年3月15日
- 「宗教人類学」(佐々木宏幹, 阿部年晴と共著)日本民族学会(編)『日本の民族学 1964~1983』弘文堂, 42-48頁, 52-55頁, 1986年3月15日
- 「七二歳の出家僧との対話」『季刊 民族学』千里文化財団, 36号, 57頁, 1986年4月20日
- 「日本語にならない言葉—ドーサー—」『翻訳の世界』日本翻訳家養成センター, 11巻5号, 106-107頁, 1986年5月1日
- 「想像力の社会史へ」『日本民俗学』日本民俗学会, 166号, 5-6頁, 1986年7月31日
- 「スリランカ—東アジア仏教圏と日本の民俗宗教—」『歴史手帖』名著出版, 14巻10号, 54-56頁, 1986年10月1日
- 「弓神楽の祭祀」『MINZOKEN NEWS』アジア民族造形研究所, 1号, 2-3頁, 1986年11月10日
- 「スリランカの聖地—シーニガマのデヴォル崇拜—」『インド考古研究』インド考古研究会, 9・10号,

- 51-54頁, 1987年3月31日
- 「乱後の世界—在地武士団の活動—」(奥州の動向—伝説と史実—)『日本の歴史』[週刊朝日百科 日本
の歴史59](承平・天慶の乱と都)朝日新聞社, 587号, 124-125頁, 1987年5月31日
- 「神楽」『コンサート』[特集 音のトポス]草楽社, 5号, 46-48頁, 1987年5月25日
- 「スリランカの僧侶と私」『三色旗』慶應義塾大学通信教育部, 474号, 13-15頁, 1987年9月1日
- 「山岳信仰・修験道」圭室文雄・平野榮次・宮家準・宮田登(編)『民間信仰 調査整理ハンドブック』
上巻(理論編)雄山閣, 135-147頁, 1987年10月5日
- 「宗教」杉本良男(編)『もっと知りたいスリランカ』弘文堂, 95-125頁, 1987年10月10日
- 「サバラガム—宝石・紅茶・巡礼—」杉本良男(編)『もっと知りたいスリランカ』弘文堂, 223-240
頁, 1987年10月10日
- 「日本における中国民俗・民族関連文献紹介(1946-1960)『中国民俗研究通信』中国民俗研究会(早稲
田大学教育学部鈴木啓造研究室), 3号, 42-45頁, 1987年11月20日
- 「僧の生きている風景—スリランカでの対話—」『仏教』法蔵館, 2号, 58-65頁, 1988年1月25日
- 「日本における中国民俗・民族関連文献紹介(1961-1974)『中国民俗研究通信』中国民俗研究会(早稲
田大学教育学部鈴木啓造研究室), 4号, 26-30頁, 1988年2月20日
- 「日本における中国民俗・民族関連文献紹介(1975-1979)『中国民俗研究通信』中国民俗研究会(早稲
田大学教育学部鈴木啓造研究室), 5号, 45-48頁, 1988年11月20日
- 「日本における中国民俗・民族関連文献紹介(1980-1982)『中国民俗研究通信』中国民俗研究会(早稲
田大学教育学部鈴木啓造研究室), 6号, 42-47頁, 1989年2月20日
- 「銅鼓についての断章」『季刊 自然と文化』[特集 雲南・貴州と古代日本のルーツ]日本ナショナル
トラスト, 24号, 18-23頁, 1989年3月15日
- 「追悼」『追悼 坪井洋文』坪井洋文追悼文集刊行会(国立歴史民俗博物館), 118-119頁, 1989年6月
25日
- 「平将門」『小説新潮』臨時増刊号[時代小説特集・名作短編で読む日本の歴史]新潮社, 1989年10月
16日
- 「日本における中国民俗・民族関連文献紹介(1983-1984)『中国民俗研究通信』中国民俗研究会(早稲
田大学教育学部鈴木啓造研究室), 7号, 42-45頁, 1990年2月20日
- 「山岳信仰と村落—ハヤマ籠りをめぐって—」真野俊和(編)『民俗宗教の構造と文化変容に関する総合
的調査研究』[1988・1989年度文部省科学研究費補助金「総合研究(A)」研究成果報告書]上越教育
大学真野俊和研究室, 73-79頁, 1990年3月31日
- 「スリランカの宗教, 仮面劇の世界, キャンディアン・ダンス, ペラヘラ祭, スリランカの仏教」『地球
の歩き方60 スリランカ』(初版)ダイヤモンド・ビッグ社, 1990年6月1日
- 「人生のゆくえ—天道念仏の場合—」『伝え』日本口承文芸学会, 7号, 1990年9月30日
- 「修験道における儀礼的殺害と民俗の諸相」『季刊 自然と文化』[特集 カミ殺し—殺害と再生の儀礼]
日本ナショナルトラスト, 31号, 30-43頁, 1990年12月15日
- 「龍の顕現—貴州苗族の世界観の諸相—」『文化人類学』[特集 中国研究の視角]アカデミア出版会, 8
号, 98-103頁, 1990年12月20日
- 「キャンディの町とペラヘラ祭」『NHK美の回廊をゆく① 東南アジア至宝の旅』(聖地スリランカ, カ

- ンボジア・アンコールワット) 日本放送出版協会, 56-58頁, 1991年2月20日
- 「米と日本人」『三色旗』[特集 コメ問題を考える] 慶應義塾大学通信教育部, 517号, 15-17頁, 1991年4月1日
- 「洞窟葬のムラー青瑤の婚姻と葬制—」(竜の棲む地—中国貴州の少数民族2—)『春秋』春秋社, 328号, 19-23頁, 1991年4月25日
- 「小さな少数民族—白褲瑤再訪—」(竜の棲む地—中国貴州の少数民族5—)『春秋』春秋社, 331号, 17-21頁, 1991年8月25日
- 「異装は時空を越える」(姫野翠と対談)『ナム』[特集 仮面と異装] 水声社, 229号, 25-33頁, 1991年9月1日
- 「人生の移ろい—水族の婚姻と葬制—」(竜の棲む地—中国貴州の少数民族8—)『春秋』春秋社, 334号, 26-31頁, 1991年11月25日
- 「伝承と事実の間—岩手県宮古市津軽石の又兵衛祭りの事例から—」『民俗宗教の西日本と東日本における構造的相違に関する総合的調査研究』[1990・1991年度文部省科学研究費補助金「総合研究(A)」研究成果報告書] 武蔵大学人文学部宮本袈娑雄研究室, 101-109頁, 1992年3月31日
- 「『ミャオ族』その他」『中国に関する文化人類学的研究のための文献解題』[文部省科学研究費補助金研究成果報告書] 東京大学東洋文化研究所末成道男研究室, 1992年3月31日
- 「弓神楽—土公祭文—」『文字のない伝承—音楽の霊力—』国立劇場, 1992年4月24日
- 「ヤオ族の地に民族博物館」『朝日新聞』朝刊, 38276号, 7頁, 1992年8月18日
- 「バリ・フィールドノート1992」『CASニューズレター』慶應義塾大学地域研究センター, 53号, 1-2頁, 1992年11月10日
- 「津軽石の年中行事」宮家準(編)『宮古市史民俗編』下巻, 617-648頁, 1994年3月31日
- 「津軽石の又兵衛祭り」宮家準(編)『宮古市史民俗編』上巻, 565-574頁, 1994年3月31日
- 「バリ島で考えたこと—異文化の理解—」『儀礼文化ニュース』儀礼文化学会, 74号, 7頁, 1993年11月10日
- 「インドの影絵芝居」『スラット・バリ SRAT BALI』バリ芸能研究会, 17号, 2-3頁, 1993年11月
- 「天と地を結ぶ七つの聖地」『太陽』[特集日本聖地観光] 平凡社, 391号, 20-32頁, 1994年1月12日
- 「北インドの暮らしと祭り—ミティラー地方の場合—」『三色旗』[特集 アジア諸民族の文化] 慶應義塾大学通信教育部, 560号, 7-11頁, 1994年10月1日
- 「アニミズムの再考」(川喜田二郎・関根康正・澤田昌人と共著) 日本未来学会(編)『宗教の未来』東京書籍, 116-125頁, 1994年12月27日
- 「水子供養」『三田評論』慶應義塾, 964号, 48-49頁, 1994年12月1日
- 「研究の流れ『ミャオ族』」(曾士才・谷口裕久と共著), 「文献解題: 内田智雄『中国農村の家族と信仰』, 鎌田茂雄『中国の仏教儀礼』, 張有雋『瑤族宗教論集』, 徳江県民族事務委員会(編)『儼戲論文選』, 高倫『貴州儼戲』, 後藤淑・廣田律子(編)『中国少数民族の仮面劇』, de Beauclaire, Inez: A Miao Tribe of Southeast Kweichow and its Cultural Configuration, 李瑞枝(編)『節日風情与伝説』, Graham. David Crockett: Songs and stories of the Ch'uan Miao, 貴州省編写組(編)『苗族社会歴史調査』, 中国西南民族研究学会(編)『西南民族研究』, 楊鵬国『苗族舞蹈与巫女文化』, 范禹(編)『水族文化史』, 史継忠「貴州史科目録」『民族研究参考資料』3号, 中国民族研究会(編)「中国文献紹介」

- 『中国民族研究通信』1号, 松岡正子「氏羌族関連文献史料選目」『中国民族研究通信』5号」末成道男(編)『中国文化人類学文献解題』東京大学出版会, 46-50頁, 1995年2月28日
- 「熊野学ネットワーク基本計画策定調査委員会議事録」『博物館の復権, もしくは「新・博物学」の確立に向けて』熊野学研究センター(仮称)構想実行委員会(山折哲雄・白幡洋三郎・高田公理・武田博清・中田尚子・林信夫・彦坂裕・鷺田清一と共著), CDI, 159-198頁, 1995年3月31日
- 「荒神信仰について」『安芸・備後の神楽』国立劇場事業部宣伝課, 12-13頁, 1995年6月30日
- 「山川草木ことごとく物言う」『宗教学がわかる』(AERA Mook 11)朝日新聞社, 97-101頁, 1995年12月10日
- 「霊地にみる日本人の靈魂観・他界観」『日本「霊地・巡礼」総覧』(別冊歴史読本)新人物往来社, 264-269頁, 1996年9月26日
- 「宗教人類学の立場から(新しい学問の流れを探る)」『Guideline』河合塾, 11号, 68頁, 1996年11月
- 「神子と法者一巫女と男巫のはざま」『神子シンポジウム報告書』宮古市教育委員会, 岩手県立宮古短期大学, 1997年3月31日
- 「大元神楽の神懸かり」『季刊 文化遺産』並河萬里写真財団, 3号, 54-55頁, 1997年4月20日
- 「インドの影絵人形劇」『三色旗』[特集 現代世界の民衆文化と大衆文化]慶應義塾大学通信教育部, 595号, 2-7頁, 1997年10月1日
- 『「妙見」とは』『あしなか』[妙見信仰特輯]山村民俗の会, 149号, 7頁, 1997年12月
- 「対馬の芸能資料展」『日本民俗学』日本民俗学会, 213号, 1998年2月28日
- 「追悼一姫野さん」『スラット・バリSRAT BALI』バリ芸能研究会, 26号, 7-8頁, 1998年4月20日
- 「スリランカの音楽舞踊の魅力一悪霊との対話と遊戯」『スリランカ・ブダワッタ民族舞踊団』民主音楽協会, 10-11頁, 1998年5月11日
- 「来訪神の諸相一中国の苗族の調査から」『文明のクロスロードMuseum Kyushu』[特集 椎葉の自然と文化]博物館等建設推進九州会議, 60号, 60-64頁, 1998年5月20日
- 「椎葉民俗芸能博物館の開館」『地方史研究』名著出版, 48巻3号, 115-116頁, 1998年6月1日
- 「アジアの中のインド」『春秋』[総特集 中村元と現代], 400号, 30-33頁, 1998年6月26日
- 『「祭礼行事」総覧』(別冊歴史読本)新人物往来社, 96-103頁, 1999年1月3日
- 「相性占いと姓名判断」飯島吉晴(編)『幸福祈願』(民俗学の冒険1)筑摩書房, 95-100頁, 1999年4月20日
- 「手草祭文 弓神楽解説」『日本音楽の表現』国立劇場, 6-7頁, 1999年4月27日
- 「王権と祭祀」『岩波講座 世界歴史』6巻, 岩波書店, 月報, 3-5頁, 1999年7月19日
- 「自然との語り」鈴木正崇(編)『大地と神々の共生一自然環境と宗教一』[福井勝義他との討論]昭和堂, 233-253頁, 1999年10月25日
- 『「役行者と修験道の世界」の開催』『日本民俗学』日本民俗学会, 220号, 132-133頁, 1999年11月30日
- 「巫覡についての私見」『巫覡盲僧学会会報』12号, 1-4頁, 2000年3月31日
- 「立山信仰・白山信仰」『北国と日本海』(日本民俗写真大系8)日本図書センター, 123, 136頁, 2000年4月25日
- 「東北日本・山々にひらけるまつり一映画『金沢の羽山ごもり』『陸奥室根の荒まつり』をみて一」『民映研通信』民族文化映像研究所, 70号, 3-8頁, 2000年7月1日

- 「祭祀と演劇—鬼神と翁の源流へ—」[松岡心平・田仲一成・野村伸一と対談] 松岡心平(編)『鬼と芸能—東アジアの演劇形成—』森話社, 9-86頁, 2000年7月7日
- 「回想の中の地域」『CASニューズレター』[100号記念特集 地域研究の課題] 慶應義塾大学地域研究センター, 100号, 20-21頁, 2000年8月28日
- 「修験と芸能」『山の宗教—修験道とは何か—』(別冊太陽) 平凡社, 111号, 106-112頁, 2000年10月25日
- 「山と海, 火と水—修験と巡礼の熊野—」『熊野シンポジウム—祝祭の地, 熊野への誘い—』和歌山県熊野学シンポジウム実行委員会「熊野学」友の会, 32-38頁, 2000年12月25日
- 「追悼・本田安次先生」『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 32号, 38-40頁, 2001年3月30日
- 「彼岸と太陽信仰と花」『雑賀崎のハナフリ』雑賀崎の自然を守る会, 13頁, 2001年3月31日
- 「姫田さんとの出会い—祝賀会に寄せて—」『民映研通信』民族文化映像研究所, 73号, 8頁, 2001年7月1日
- 「文化人類学の現代的課題」『哲学』[特集 文化人類学の現代的課題] 三田哲学会(慶應義塾大学文学部) 107集, i-iii頁, 2002年1月21日
- 「著者に聞く『女人禁制』」『東京新聞』2002年3月24日
- 「宗教が創り出す新しい絆 [ワークショップ(1), 2001年度ワークショップ記録], 趣旨説明, コメント」『宗教と社会』「宗教と社会」学会, 8号, 132-133, 133-135, 176-178頁, 2002年6月29日
- 「ハヌマーンとサルタヒコ」『あらはれ』[猿田彦大神フォーラム年報] 5号, 37-43頁, 2002年9月26日
- 「教育現場から 慶應義塾大学」山下晋司(編)『日本における文化人類学教育の再検討—新たな社会的ニーズのなかで—』[平成13~14年度科学研究費補助金「基盤研究(B)」研究成果報告書] 東京大学大学院総合文化研究科, 18-20頁, 2003年3月20日
- 「移動するアジア人のエスニック・アイデンティティ形成を通して諸民族の心性を探る」鈴木正崇・吉原和男・柳田利夫(編)『心の解明に向けての統合的方法論構築: 平成14年度成果報告書』慶應義塾大学21世紀COE人文科学研究拠点心の統合的研究センター事務局, 106-110頁, 2003年3月31日
- 「大峯山の女人禁制」『増補吉野町史』吉野町, 302-316頁, 2004年3月25日
- 「来訪神と祖先祭祀—西南中国の事例から—」『巫覡盲僧学会会報』16号, 9-12頁, 2004年3月31日
- 「世界遺産を語る・紀伊山地の霊場と参詣道(下)『女人禁制』」『毎日新聞』夕刊, 4頁, 2004年7月30日
- 「世界遺産と女人禁制」『三田評論』慶應義塾, 1074号, 48頁, 2004年12月1日
- 「総合コメント2:『宗教文化の歴史地理学』シンポジウム」『歴史地理学』歴史地理学会, 222号, 102-104頁, 2005年1月31日
- 「森町の舞楽について」『先人の足跡』森町, 210-212頁, 2005年6月1日
- 「都市人類学の再構築」『三田社会学』三田社会学会(慶應義塾大学文学部) 10号, 1-3頁, 2005年7月9日
- 「鮭と共に生きる—遊佐の鮭漁の歴史と現在—」神田より子(編)『鳥海山麓遊佐町の民俗』遊佐町, 上巻, 150-186頁, 2006年3月31日
- 「やさら—人形の民俗—」神田より子(編)『鳥海山麓遊佐町の民俗』遊佐町, 上巻, 332-356頁, 2006年3月31日

- 「サンニ・ヤカーの仮面」『月刊みんぱく』国立民族学博物館, 30巻6号, 11頁, 2006年6月1日
- 「東アジア研究所講座『東アジアの近代と日本』」『OPEN』慶應義塾大学広報室, 45号, 10頁, 2006年9月18日
- 「インドの村祭りオーナム」『第3回フェスティバル拍一リズムであそぼう』倉敷市瀬戸大橋架橋記念館, 6頁, 2006年11月3日
- 「デューの信仰」『南アジア史3』(南インド) 山川出版社, 340-342頁, 2007年1月31日
- 「はじめに一空間と文化をめぐる断章」『哲学』[特集: 文化人類学の現代的課題II] 三田哲学会(慶應義塾大学文学部), 119集, i-iii頁, 2008年3月28日
- 「苗族の正月風景—来訪神と祖先祭祀—」『口承文芸研究』日本口承文芸学会, 31号, 162-166頁, 2008年3月31日
- 「コメント: シンポジウム「仏教と民俗」」『日本民俗学』日本民俗学会, 253号, 128-133頁, 2008年2月29日
- 「空間の表象に関する宗教民俗学的研究」[日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)報告書] 慶應義塾大学鈴木正崇研究室, 全160頁, 2008年1月31日
- 「神話と芸能のインド—神々を演じる人々—」鈴木正崇(編)『神話と芸能のインド—神々を演じる人々—』山川出版社, 3-9頁, 2008年8月31日
- 「弓神楽『手草祭文』」『国立能楽堂』日本芸術文化振興会, 308号, 13頁, 2009年4月8日
- 「弓の祈禱と神楽の諸相」『国立能楽堂』日本芸術文化振興会, 308号, 18-21頁, 2009年4月8日
- 「『シラタカのお告げ』の現代的意義」アンヌ・ブッシィ『神と人のはざまに生きる—近代都市の女性巫者—』東京大学出版会, 257-270頁, 2009年5月22日
- “The History of Japanese Folklore Studies,” *Japanese Book News*, Japan Foundation, No. 61, pp. 12-14, 2009年9月1日
- 「お彼岸の意義—宗教学・民俗学の立場から—」『日本経済新聞』朝刊, 11-12頁, 2009年9月11日
- 「女人禁制をめぐる諸問題」『石川県の歴史遺産セミナー講演録』(白山 第5回~8回), 石川県立歴史博物館(金沢), 66-80頁, 2010年3月31日
- 「地域研究とオーラル・ヒストリー」『三田社会学』三田社会学会(慶應義塾大学文学部)15号, 1-2頁, 2010年7月10日
- 「道の宗教性と文化的景観」[科学研究費補助金基盤研究(C)報告書] 慶應義塾大学文学部鈴木正崇研究室, 全174頁, 2011年3月1日
- 「フォーラム 慶應義塾大学東アジア研究所」『日本民俗学』日本民俗学会, 266号, 114-118頁, 2011年5月31日
- 「山の民の想像力—銀鏡神楽の世界—」『銀鏡神楽』日本芸術文化振興会, 6-7頁, 2011年6月25日
- 「山岳信仰」『大法輪』大法輪閣, 79巻1号, 108-113頁, 2012年1月1日
- 「教授に訊く 学生時代の旅」『塾生新聞』慶應義塾大学塾生新聞会, 2頁, 2012年5月10日
- 「民俗社会の色彩感覚」丸山伸彦(編)『日本史色彩事典』吉川弘文館, 411-413頁, 2012年5月10日
- 「東アジアの日常生活の根底に潜むもの」『東アジアの伝統と挑戦—東アジア研究への第一歩—』(極東証券寄附講座2011) 慶應義塾大学文学部, 64頁, 2012年6月30日
- 「吉野晃『タイ北部, ユーミエン(ヤオ)の船送り』」『“カラダ”が語る人類文化—形質から文化まで—』

- 国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所, 155-156頁, 2012年7月24日
- 「巻頭言—『山岳修験』50号に寄せて—」『山岳修験』日本山岳修験学会, 50号, 1-2頁, 2012年8月31日
- 「神楽—自然と人間の交流のドラマ—」『山と森の精霊—高千穂・椎葉・米良の神楽—』LIXIL出版, 72-75頁, 2012年9月15日
- 「富士山と修験道」『環—歴史・環境・文明—』[特集 今,なぜ富士山か] 藤原書店, 55号, 102-103頁, 2013年10月30日
- 「グローバル化の中のアジアの伝統文化と民衆文化」『東アジアの伝統と挑戦—東アジア研究への第一歩—』(極東証券寄附講座2012) 慶應義塾大学文学部, 88-89頁, 2013年10月31日
- 「フェティッシュ・マーケット瞥見—トゴでの体験から—」田中雅一(編)『越境するモノ』[フェティッシュ研究2] 京都大学学術出版会, 213-217頁, 2014年2月28日
- 「研究動向に寄せて」『日本民俗学』日本民俗学会, 277号, 2-5頁, 2014年2月28日
- 「小京都としての遠州森」『三木の里』遠州森町, 22号, 8-11頁, 2014年3月25日
- 「修験道は民族宗教か?—宗教人類学の立場から—」『宗教研究』日本宗教学会, 87巻別冊, 46-47頁, 2014年3月31日
- 「修験道研究の回顧と展望(パネルの主旨とまとめ)」『宗教研究』日本宗教学会, 87巻別冊, 46-47頁, 2014年3月31日
- 「成田山門前町調査研究事業報告—平成二十四年度・平成二十五年度—」『成田市史研究』成田市, 38号, 99-106頁, 2014年3月31日
- 「『宗教と社会』の創刊とその時代」『宗教と社会』「宗教と社会」学会, 20号, 189頁, 2014年6月21日
- 「門前町に生きる—過去・現在・未来— 第2回 お大師参り」『広報なりた』成田市, 1275号, 10頁, 2014年9月15日
- 「地域研究と慶應義塾—人文社会科学の視座から—」『三田評論』[特集 地域研究の軌跡と展望] 慶應義塾, 1182号, 32-37頁, 2014年10月1日
- 「流動する東アジア」『東アジアの伝統と挑戦—東アジア研究への第一歩—2013』(極東証券寄附講座2013) 56-57頁, 2014年10月31日
- 「2014年度東アジア研究所講座の終了にあたって」『慶應義塾大学東アジア研究所 ニュースレター』23号, 1頁, 2014年12月10日
- 「シャクンタラー姫の物語—サンスクリット劇の魅力—」新国立劇場運営財団営業部(編)『ラ・バヤデー ル 新国立劇場バレエ公演2014/2015シーズン』日本芸術文化振興会, 25-27頁, 2015年2月17日
- 「はじめに」鈴木正崇(編)『森羅万象のささやき—民俗宗教研究の諸相—』風響社, 1-4頁, 2015年3月27日
- 「地域研究の30年」『慶應義塾大学東アジア研究所 ニュースレター』24号, 1頁, 2015年6月10日
- 「大元神楽の特色と神がかりの秘儀」国立劇場営業部営業課編集企画室(編)『石見 大元神楽』日本芸術文化振興会, 2-3頁, 2015年6月20日
- 「門前町に生きる—過去・現在・未来— 第12回 お稲荷さん」『広報なりた』成田市, 1285号, 10頁, 2015年7月15日

書評・書誌紹介

- 「窪徳忠編『沖縄の外来宗教—その受容と変容—』弘文堂『沖縄文化』沖縄文化協会, 14巻2号, 1978年4月20日
- 「田畑英勝『奄美の民俗』法政大学出版局『日本読書新聞』1892号, 6頁, 1979年2月7日
- 「コルネリウス・アウエハント『鯰絵—民俗的想像力の世界—』せりか書房『民族学研究』日本民族学会, 45巻2号, 190-193頁, 1980年9月30日
- 「五来重編『修験道の美術・芸能・文学』名著出版『日本読書新聞』2110号, 6頁, 1981年6月8日
- 「佐々木宏幹『憑霊とシャーマン—宗教人類学ノート—』東京大学出版会『日本読書新聞』2235号, 6頁, 1983年12月5日
- 「新井恒易編『騎西町史 民俗編』騎西町『芸能』芸能研究所, 28巻6号, 25-26頁, 1986年6月10日
- 「小松和彦『異人論—民俗社会の心性—』青土社『日本民俗学』日本民俗学会, 166号, 83-86頁, 1986年7月31日
- 「ガナナート・オバーセーカラ『メドゥーサの髪—エクシタシーと文化の創造—』(渋谷利雄訳) 言叢社『朝日ジャーナル』68-69頁, 1988年6月10日
- Ouweland, C., Hateruma: Socio- Religious Aspects of a South Ryukyuan Island, Leiden, E. J. Brill, *Asian Folklore Studies*, Vol. 47. No. 2, pp. 335-336, 1988
- 「岩田勝編『中国地方神楽祭文集』三弥井書店『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 12号, 116-124頁, 1990年1月20日
- 「永留久恵『海神と天神』白水社『民族学研究』日本民族学会, 54巻1号, 107-108頁, 1989年6月30日
- 「北原淳『タイ農村社会論』勁草書房『社会学評論』日本社会学会, 41巻4号, 440-442頁, 1991年3月31日
- 「宮家準『宗教民俗学』東京大学出版会『民俗文化』近畿大学民俗学研究所, 3号, 262-26頁, 1991年3月25日
- 「内藤正敏『修験道の精神宇宙—出羽三山のマンダラ思想—』青土社『山岳修験』日本山岳修験学会, 10号, 66-68頁, 1992年10月11日
- 「岩田勝編『神楽』岩田書院『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 16号, 43-45頁, 1992年11月15日
- 「倉林正次『冬から春へ』桜楓社『日本民俗学』日本民俗学会, 196号, 134-141頁, 1993年11月30日
- 「竹沢尚一郎『宗教という技法』勁草書房『宗教研究』日本宗教学会, 67巻3号, 135-140頁, 1993年12月30日
- 「少数民族研究の新時代を告げる論文集—竹村卓二編『儀礼・民族・境界』風響社—』『東方』東方書店, 166号, 23-26頁, 1995年1月5日
- 「民俗芸能研究の会・第一民俗芸能学会編『課題としての民俗芸能研究』ひつじ書房『民俗宗教』東京堂出版, 5号, 284-293頁, 1995年5月31日
- 「福原敏男『祭礼文化史の研究』法政大学出版局『日本民俗学』日本民俗学会, 205号, 110-120頁, 1996年2月28日
- 「橋本裕之『王の舞の民俗学的研究』ひつじ書房『日本民俗学』日本民俗学会, 212号, 195-206頁, 1997年11月30日
- 「斉藤卓志『刺青 TATOO』岩田書院『日本民俗学』日本民俗学会, 220号, 172-173頁, 1999年11

月 30 日

- 「山口昌男『敗者学のすすめ』平凡社』『東京新聞』朝刊, 2000年3月19日
- 「下野敏見編『民俗宗教と生活伝承—南日本フォークロア論集—』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 222号, 173頁, 2000年5月31日
- 「安田夕希子『穢れ考』国際基督教大学比較文化研究会』『日本民俗学』日本民俗学会, 225号, 132頁, 2001年2月28日
- 「服部英雄『地名の歴史学』角川書店』『日本民俗学』日本民俗学会, 225号, 134頁, 2001年2月28日
- 「田中文雄・丸山宏・浅野春二編『講座道教』第2巻(道教の教団と儀礼)雄山閣』『東方宗教』日本道教学会, 97号, 37-42頁, 2001年5月10日
- 「山口保明『宮崎の神楽』鉦脈社』『日本民俗学』日本民俗学会, 226号, 140頁, 2001年5月31日
- 「前橋松造『奄美の森に生きた人』南方新社』『日本民俗学』日本民俗学会, 226号, 141頁, 2001年5月31日
- 「大林太良『私の一宮巡詣記』青土社』『東京新聞』1124号, 2001年9月30日
- 「市川秀之『広場と村落空間の民俗学』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 228号, 123-128頁, 2001年11月30日
- 「宮家準『宗教民俗学入門』丸善』『学燈』丸善, 99巻12号, 52-53頁, 2002年12月1日
- 「斎藤英喜『いざなぎ流 祭文と儀礼』法蔵館』『週刊 読書人』2481号, 2頁, 2003年4月4日
- 「佐藤弘夫『霊場の思想』吉川弘文館』『山岳修験』日本山岳修験学会, 32号, 74-76頁, 2004年3月31日
- 「田中雅一『供儀世界の変貌—南アジアの歴史人類学—』法蔵館』『宗教研究』日本宗教学会, 77巻1号, 182-187頁, 2003年6月30日
- 「根井浄『補陀落渡海史』法蔵館』『宗教民俗研究』日本宗教民俗学会, 13号, 110-117頁, 2003年12月1日
- 「松崎憲三『現代供養論考—ヒト・モノ・動植物の慰霊—』慶友社』『日本民俗学』日本民俗学会, 242号, 86-91頁, 2005年5月31日
- 「筑波大学民俗学研究室編『都市と境界の民俗』吉川弘文館』『日本民俗学』日本民俗学会, 240号, 126頁, 2004年11月30日
- 「姫野翠『異界へのメッセンジャー』出帆新社』『民族藝術』民族藝術学会, 21号, 219-223頁, 2005年3月31日
- 「コルネリウス・アウエハント『HATERUMA—波照間: 南琉球の島嶼文化における社会=宗教的諸相—』榕樹書林』『文化人類学』日本文化人類学会, 70巻1号, 139-140頁, 2005年6月30日
- 「井上隆弘『霜月神楽の祝祭学』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 244号, 166頁, 2005年11月30日
- 「酒井正子『奄美・沖縄 哭きうたの民族誌』小学館』『日本民俗学』日本民俗学会, 245号, 127頁, 2006年2月28日
- 「川田順造『母の声, 川の匂い—ある幼児と未生以前をめぐる断章—』筑摩書房』『神奈川大学評論』神奈川大学, 53号, 191頁, 2006年3月31日
- 「植木行宣・田井竜一編『都市の祭礼—山・鉾・屋台と囃子—』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 246号, 102頁, 2006年5月31日

- 「岸上興一郎『海港場横浜の民俗文化』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 248号, 115頁, 2006年11月30日
- 「荒川章二・笹原恵・山道太郎・山道佳子『浜松まつり—学際的分析と比較の観点から—』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 249号, 144頁, 2007年2月28日
- 「今里悟之『農山漁村の〈空間分類〉—景観の秩序を読む—』京都大学学術出版会』『日本民俗学』日本民俗学会, 250号, 105-112頁, 2007年5月31日
- 「矢野秀武『現代タイにおける仏教運動—タンマガーイ式瞑想とタイ社会の変容—』東信堂『宗教と社会』『宗教と社会』学会, 13号, 176-184頁, 2007年6月9日
- 「藤原喜美子『オニを迎え祭る人々—民俗芸能とムラー—』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 276号, 145-146頁, 2007年8月31日
- 「園田学園女子大学歴史民俗学会編『漂泊の芸能者』岩田書院』『日本民俗学』日本民俗学会, 251号, 120-121頁, 2007年8月31日
- 「小松和彦編『日本人の異界観』せりか書房『宗教民俗研究』日本宗教民俗学会, 17号, 2007年10月26日
- 「上原輝男『曾我の雨・牛若の衣裳—心意伝承の残像—』暮らしの手帖社』『日本民俗学』日本民俗学会, 252号, 241頁, 2007年11月30日
- 「『上井久義著作集』全7巻, 清文堂』『日本民俗学』日本民俗学会, 253号, 127頁, 2008年2月29日
- 「都市と祭礼研究会編『天下祭読本—幕末の神田明神祭礼を読み解く—』雄山閣『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 44号, 61-62頁, 2008年3月30日
- 「鈴木正崇編『神話と芸能のインド—神々を演じる人々—』『三田評論』慶應義塾, 1118号, 93頁, 2008年12月1日
- 「松村一男・山中弘編『神話と現代』(宗教史学叢書12)リトン『宗教研究』日本宗教学会, 82巻3号, 127-132頁, 2008年12月30日
- 「高梨一美『沖縄の「かみんちゅ」たち—女性祭司の世界—』岩田書院『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 47号, 81-90頁, 2009年9月30日
- 「由谷由哉・時枝務編『郷土史と近代日本』角川学芸出版『宗教と社会』『宗教と社会』学会, 17号, 108-111頁, 2011年6月11日
- 「福田晃・金賛會・百田弥栄子編『鉄文化を拓く 炭焼長者』三弥井書店『図書新聞』3029号, 2011年9月10日
- 「宮家準『修験道の地域的展開』春秋社『山岳修験』日本山岳修験学会, 51号, 57-59頁, 2012年8月31日
- 「三村泰臣『中国地方民間神楽祭祀の研究』岩田書院『宗教民俗研究』日本宗教民俗学会, 21・22号, 174-180頁, 2013年1月10日
- 「松崎憲三『地蔵と閻魔・奪衣婆—現世・来世を見守る仏—』慶友社『日本民俗学』日本民俗学会, 276号, 145-146頁, 2013年11月30日
- 「林承緯『宗教造型與民俗伝承—日治時期在臺日人庶民信仰世界—』藝術家出版社(臺北市, 中華民國臺灣)『日本民俗学』日本民俗学会, 276号, 145-146頁, 2013年11月30日
- 「福岡県文化財調査研究委員会編『豊前神楽調査報告書—京筑地域の神楽を中心として』福岡県『日本

- 民俗学』日本民俗学会, 276号, 143-144頁, 2013年11月30日
- 「パーシヴァル・ローエル『オカルト・ジャパン—外国人の見た御嶽行者と憑霊文化—』岩田書院『日本民俗学』日本民俗学会, 277号, 248頁, 2014年2月28日
- 「小松和彦『「伝説」はなぜ生まれたか』角川学芸出版『日本民俗学』日本民俗学会, 278号, 147頁, 2014年5月31日
- 「市川秀之『「民俗」の創出』岩田書院『日本民俗学』日本民俗学会, 278号, 148頁, 2014年5月31日
- 「小島美子・薦田治子・沢井那次・中山一郎編『イタコ 中村タケ』アド・ポポロ『日本民俗学』日本民俗学会, 279号, 97頁, 2014年8月31日
- 「上村遠山霜月祭保存会『遠山霜月祭〈上村〉』飯田市美術博物館『日本民俗学』日本民俗学会, 279号, 98頁, 2014年8月31日
- 「宮本袈裟雄『里修験の研究 続』岩田書院『日本民俗学』日本民俗学会, 279号, 99頁, 2014年8月31日
- 「和歌山県教育委員会編『熊野三山民俗文化財調査報告書』和歌山県『民俗芸能研究』民俗芸能学会, 57号, 52-54頁, 2014年9月30日
- 「渡辺伸夫『椎葉神楽発掘』岩田書院『日本民俗学』日本民俗学会, 280号, 115頁, 2014年11月30日
- 「日本宗教史懇話会編『日本宗教史研究の軌跡と展望』岩田書院『日本民俗学』日本民俗学会, 281号, 102頁, 2015年2月28日
- 「高倉浩樹・滝澤克彦編『無形民俗文化財が被災すること—東日本大震災と宮城県沿岸部地域社会の民俗誌—』新泉社『宗教と社会』「宗教と社会」学会, 21号, 193頁, 2015年6月13日

辞典・事典項目

- 「アマミキュ・シネリキュ, 沖縄神話』『日本大百科全書 (ニッポニカ)』小学館, 1984年
- 「修験道—儀礼と芸能—」小野泰博・下出積與・相山林継・鈴木範久・藺田稔・奈良康明・尾藤正英・藤井正雄・宮家準・宮田登 (編)『日本宗教事典』弘文堂, 468-473頁, 1985年2月10日
- 「荒神, 庚申, 金神, 星, 妙見, 兜率天, 補陀落, 浄土変相図, 海上他界, 山中他界, 他界, 浄土, 入定, 地獄, 火定, 入水」宮家準 (編)『修験道辞典』東京堂出版, 1986年8月30日
- 「暗闇祭, 神田祭, 三社祭, 山王祭, 御魂祭, 氷川祭, 住吉祭, 阿佐ヶ谷七夕祭, 高円寺阿波踊り, 鞆祭」小木新造・陣内秀信・竹内誠・芳賀徹・前田愛・宮田登・吉原健一郎 (編)『江戸東京学事典』三省堂, 1987年12月10日
- 「験者, 強力, 廻国雑記, 笈, 最多角念珠, 兜巾, 火渡り, 山開き, 法螺, 土公神, 結袈裟, 篠懸, 錫杖, 胎内潜, 三隣亡, 重日, 姓名判断, 大安, 断物, 辻占, 二十三夜, 友引, 橋占, 虫封じ, 耳塞, 初夢, 仏滅, 六曜, 方位, 洞窟, 金神』『世界大百科事典』平凡社, 1984年11月2日
- 「シンハラ人, 洞窟, 虹, ヴェツダ, セイロン人, チェンチュ」石川栄吉・大林太良・佐々木高明・梅棹忠夫・蒲生正男・祖父江孝男 (編)『文化人類学事典』弘文堂, 1987年2月10日
- 「廻国雑記, 験者」平凡社 (編)『日本史大事典』第2巻, 平凡社, 1992年2月
- 「ウェーサク祭, カタラガマ, 神話 (スリランカ), ダルマパーラ, パッティニ信仰, ピリット儀礼, ムルガン信仰, ラトナブラ」辛島昇・江島恵教・小西正捷・応地利明・前田専学 (編)『南アジアを知る事典』平凡社, 1992年10月1日

- 「秋葉隆，因縁，回向，縁起，戒律，改宗，加持，儀礼，祈祷，供犠，供養，原始宗教，業，再生運動，此岸／彼岸，修行，寺院，出家／在家，巡礼，自力／他力，シンクレティズム，神仏習合，神仏分離，神話，神話学，僧伽，タブー，超自然／超人間，デュメジル，土着主義的宗教運動，トーテミズム，マナ，未開宗教」森岡清美，塩原勉，本間康平（編）『新社会学事典』有斐閣，1993年2月10日
- 「出羽三山信仰，大山信仰，富士信仰」國学院大学日本文化研究所（編）『神道事典』弘文堂，329-338頁，1994年7月15日
- 「修験道の祭祀，修験道の芸能，荒神信仰，自然崇拜，太陽崇拜，呪物崇拜，動物崇拜，蒼前様，籤」佐々木宏幹・宮田登・山折哲雄（編）『日本民俗宗教辞典』東京堂出版，1998年4月30日
- 「青，神，神遊び，喫茶，儀礼，空間認識，荒神神楽，神殿，牛玉杖，祭礼，作法，柴挿し，修二会，数寄」福田アジオ・新谷尚紀・湯川洋司・神田より子・中込睦子・渡邊欣雄（編）『日本民俗大辞典』（上巻），吉川弘文館，1999年10月1日
- 「他界観，綱引き，天蓋，土公神，那智扇祭，柱松，火祭，白蓋，祝，松本信広，祭，民俗的方位観，八岐大蛇，弓神楽，来世観，礼儀」福田アジオ・新谷尚紀・湯川洋司・神田より子・中込睦子・渡邊欣雄（編）『日本民俗大辞典』（下巻）吉川弘文館，2000年4月20日
- 「ワフンプラ，ウェッダー，コラガ，チェンチュ，ゴウダ，ナールケ，パラワン，バント，パンバダ，ピッラワ，デーヴァディガ，デーヴァンガ，ホレヤ，パルカヴァクラム，スリランカ」綾部恒雄（監修）『世界民族事典』弘文堂，2000年7月15日
- 「修正会，年占，マレビト，巫女，民間信仰」永原慶二（編）『日本歴史大事典』全4巻，小学館，2001年6月27日
- 「役小角，出羽三山信仰，御嶽信仰，修験道，山伏」子安宣邦（監修）『日本思想史事典』ぺりかん社，2001年6月1日
- 「大峯山，大峯山寺，七大童子，八大童子」大島建彦・藺田稔・圭室文雄・山本節（編）『日本の神仏の辞典』大修館書店，2001年7月1日
- 「石鏡信仰，神道と人類学，大山信仰，立山信仰，出羽三山信仰，英彦山信仰」藺田稔・橋本政宣（編）『神道史大辞典』吉川弘文館，2004年7月1日
- 「柳田國男『妹の力』『日本の祭』『海上の道』，松平齊光『祭』，原田敏明『村の祭と聖なるもの』，鈴木正崇『スリランカの宗教と社会』」小松和彦・田中雅一・谷泰・原毅彦・渡辺公三（編）『文化人類学文献事典』弘文堂，2004年12月15日
- 「修験道，呪術」井上順孝（編）『現代宗教事典』弘文堂，2005年1月30日
- 「祭祀圏，大峯信仰，御嶽信仰，津島信仰」歴史学会（編）『郷土史大辞典』朝倉書店，2005年6月20日
- 「来世観」新谷尚紀・関沢あゆみ（編）『民俗小辞典 死と葬送』吉川弘文館，2005年12月1日
- 「神，荒神神楽，祭礼，他界観，綱引き，柱松，火祭，白蓋」福田アジオ・新谷尚紀・湯川洋司・神田より子・中込睦子・渡邊欣雄（編）『精選 日本民俗辞典』吉川弘文館，2006年3月1日
- 「他界観，色彩認識，ヒジャイ，方位観，ムシャマ，来世観，綱引」渡邊欣雄・岡野宣勝・佐藤壮広・塩月亮子・宮下克也（編）『沖縄民俗事典』吉川弘文館，2008年7月1日
- 「岩田慶治『コスモスの思想—自然・アニミズム・密教空間—』，坪井洋文『イモと日本人—民俗文化論の課題—』『神道の神と民俗の神』，鈴木正崇『スリランカの宗教と社会—文化人類学的考察—』『神と仏の民俗』」島藺進・石井研士・下田正弘・深澤英隆（編）『宗教学文献事典』弘文堂，2007年12

月15日

- 「信じる、宗教、アニミズム、トーテミズム」日本文化人類学会（編）『文化人類学事典』丸善、2009年1月25日
- 「庚申信仰、四国霊場、胎内潜り、憑物落し、土公神、流灌頂、火渡り、山伏」石毛忠・今泉淑夫・笠井昌昭・原島正・三橋健（編）『日本思想史辞典』山川出版社、2009年4月22日
- 「アジール、異界、後戸の神、運勢、易、小笠原流札法、オヒデリサマ、お水取り、オロチヨンの火祭、神態、血液型占い、験競べ、荒神神楽、四柱推命、修正会、修二会、樹木崇拜、上座部仏教、清拭、姓名判断、西洋占星術、赤山明神、占星術、津島信仰、津島祭、手相、天蓋、十日夜、土公祭文、土公神、日本民俗学会、女人禁制、人相、年中行事、比婆荒神神楽、方相氏、神葭流し、民俗芸能学会、ヤクシャガーナ、弓、弓祈禱、レヴィ＝ストロース」小島美子・鈴木正崇・三隅治雄・宮家準・宮田登・和崎春日（監修）『祭・芸能・行事大辞典』朝倉書店、2009年11月20日
- 「神遊び、綱引き、土公神、柱松、荒神神楽、白蓋、弓神楽、神、祭礼、修二会、火祭、祭、シャーマニズム、修験道、摩多羅神」神田より子・俵木悟（編）『民俗小事典 神事と芸能』吉川弘文館、2010年10月10日
- 「クーリヤッタム」辛島昇・応地利明・坂田貞二・前田専学・江島惠教・小西正捷・山崎元一（編）『新版 南アジアを知る事典』平凡社、2012年5月25日
- 「修験道、山岳信仰」井上順孝（編）『世界宗教百科事典』丸善出版、2012年12月31日
- 「修験道」石田一良・石毛忠（編）『日本思想史事典』東京堂出版、2013年9月20日
- 「インドという聖地」吉原和男・蘭信三・塩原良和・関根政美・山下晋司（編）『人の移動事典—日本からアジアへ、アジアから日本へ—』丸善出版、2013年11月25日
- 「民族宗教」国立民族学博物館（編）『世界民族百科事典』丸善出版、2014年7月10日
- 「循環する時間、祭りから祭礼へ」民俗学事典編集委員会（編）『民俗学事典』丸善出版、2014年12月25日

口頭発表

- 「波照間島の神話」日本民俗学会第28回大会、1976年9月
- 「波照間島の神話と儀礼」日本民族学会第30回連合大会、1976年10月
- 「儀礼と干支のシンボリズム—波照間島の事例—」日本民族学会第16回大会、1977年5月
- 「象徴空間論—相模國、八菅・大山を中心として—」日本民族学会第31回連合大会、1977年10月
- 「民俗時間学の試み—八重山の事例から—」日本民俗学会第29回大会、1977年10月
- 「兄妹相姦神話の論理」日本民族学会第17回大会、1978年5月
- 「儀礼空間としての東大寺修二会」日本宗教学会第37回大会、1978年9月
- 「荒神神楽にみる自然と人間」日本民俗学会第30回大会、1978年10月
- 「自然方位と民俗方位の収斂モデル」日本地理学会1978年春季大会、1978年10月
- 「修験集落の比較研究—八菅・日向・大山—」日本地理学会1979年春季大会、1979年4月
- 「久高島の神話と儀礼」日本宗教学会第38回大会、1979年9月
- 「色と方位のシンボリズム—空間認識の視点から—」日本地理学会1979年秋季大会、1979年10月
- 「対馬の聖地」日本地理学会1980年春季大会、1980年4月

- 「山と神と人―羽黒派修験道の世界―」日本民族学会第19回大会, 1980年5月
- 「対馬・木坂の祭祀と村落空間」日本宗教学会第40回大会, 1981年9月
- 「海南島と西双版納の少数民族」仙人の会: 上智大学, 1981年11月8日
- 「スリランカ南部農村の宗教儀礼」日本民族学会第21回大会, 1982年5月
- 「スリランカの女神崇拜」日本宗教学会第42回大会, 1983年9月
- 「茶事の意味と構造」大阪・大茶の湯シンポジウム「茶の湯と日本文化―その過去・現在・未来―」千里文化財団: 大阪国際会議場, 1984年5月15日
- 「スリランカの女神崇拜」日本民族学会第23回大会, 1984年5月
- 「祭りとくらし」「中国広西少数民族くらし展」講演会〔講座 中国南部少数民族のくらし〕たばこと塩の博物館, 1986年12月7日
- 「東の国・西の国―悠紀国・主基国―」大嘗祭を考える講座: 國學院大學, 1989年10月15日
- 「東南アジア諸民族の生活と文化」展覧会「インドシナ半島の陶磁器」講演会: 町田市立博物館, 1990年9月16日
- 「アジアの少数民族について 概説1」平成2年度「市民大学講座」文化人類学 第1回: 大和市つきみ野文化会館, 1990年9月27日
- 「アジアの少数民族について 概説2」平成2年度「市民大学講座」文化人類学 第2回: 大和市つきみ野文化会館, 1990年10月4日
- 「対馬の祭り」と民俗」儀礼文化講座, 儀礼文化学会: 明治神宮, 1991年1月19日
- 「誕生の祭り①」朝日カルチャーセンター「まつりの文化人類学」朝日カルチャーセンター(横浜), 1992年2月14日
- 「誕生の祭り②」朝日カルチャーセンター「まつりの文化人類学」朝日カルチャーセンター(横浜), 1992年2月28日
- 「テイヤムを中心とするケーララの芸能」日本民族学会第27回大会: 南山大学, 1992年5月31日
- 「山岳修験・自然と人間」「出羽三山開山1400年祭」プレシンポジウム(山折哲雄・内藤正敏・真野俊和・山本ひろ子と共同) いでは文化記念館(羽黒町), 1992年6月28日
- 「祭りと水」シンポジウム「水の原風景―自然と心をつなぐもの―」(全国清水寺ネットワーク会議) 安来市民会館, 1992年7月18日
- 「中国―村と祭り―」朝日カルチャーセンター「アジアの文化人類学II―生活と信仰」朝日カルチャーセンター(横浜), 1993年2月26日
- 「アニミズムの再考」シンポジウム〈宗教の未来〉日本未来学会: 学士会館本館, 1993年7月8日
- 「スリランカのナーガ」シンポジウム〈ナーガの造形と象徴〉(永ノ尾信吾・小倉泰・河野亮仙と共同), アジア民族造形文化研究所: 國學院院友会館, 1993年7月10日
- 「修験と芸能」出羽三山開山1400年記念「出羽三山芸能シンポジウム」いでは文化記念館, 1993年8月17日
- 「'93' 秋・ガルンガン・クニンガン報告」(野村伸一・石井達朗と共同) バリ芸能研究会第11回例会: 東長寺, 1993年11月21日
- 「周縁からみたインド」日本南アジア学会第7回大会 シンポジウム・新しいインド像を求めて, 日本南アジア学会: 東海大学, 1994年10月2日

- 「インド・スリランカの芸能」民俗芸能学会平成6年度大会 シンポジウム・アジアの民俗芸能：慶應義塾大学，1994年11月27日
- 「日本の神楽と韓国のクッ」日韓民俗共同調査研究「神楽とクッの対照研究」シンポジウム：延世大学（韓国・ソウル），予稿集（8-13頁），1995年6月2日
- 「南インドのくらしと女神信仰」展覧会「原インド—いのちの鼓動展—」講演会：フジタヴァンテ，1995年10月7日
- 「南インドのコスモロジー—北インドとの比較—」展覧会「インド・ミティラー美術展—母から娘へ伝えられた民俗画とテラコッタの世界—」講演会：すみだリバーサイドホール・ギャラリー，1996年2月15日
- 「南インドのコスモロジー」アンマ来日プログラム講演会：横浜市教育会館，1996年5月27日
- 「アジアにおける宗教観と日本の宗教観」第1回いではサマーアカデミ：いでは文化記念館，1996年8月30日
- 「スリランカの聖地」日本南アジア学会第9回学術大会，シンポジウム「南アジアの聖地」大正大学，1996年10月6日
- 「神楽と儺戯—日中比較の可能性を求めて—」日中比較演劇シンポジウム：復旦大学（上海），1996年10月22日
- 「神子と法者—巫女と男巫のはざま—」神子シンポジウム：宮古市教育委員会：岩手県立宮古短期大学，1996年10月27日
- 「インドに暮らす」大和市民大講座：大和つきみ野文化会館，1997年3月9日
- 「南アジアにおけるジェンダー研究の現在—イギリス社会人類学の視点から—」（高原久美子，西村祐子，アンソニー・グッド，ロジャー・ジェフリー，パトリシア・ジェフリー：シンポジウムと共同）慶應義塾大学地域研究センター，1997年3月22日
- 「アジアの獅子と龍」展覧会「獅子頭—西日本を中心に—」講演会：町田市立博物館，1997年5月25日
- 「修験と芸能」儀礼文化講座，儀礼文化学会：明治神宮，1997年10月12日
- 「スリランカの仮面芸能」神奈川大学公開講座「仮面にみるアジアの民俗と文化」神奈川大学，1997年10月23日
- 「スリランカのラーマーヤナ」スリランカ研究フォーラム：和光大学総合文化研究所，1997年10月25日
- 「南インドの基層文化」[連続講座 南の国のコスモロジー]展覧会「蘇るインドの伝統芸術」講演会：たばこと塩の博物館，1998年6月14日
- 「シャーマニズムの身体論—南インドのプータとテイヤム—」コンテンポラリー・アート・ネットワーク主催講座「アジア舞踊の現在：インド編」国際交流基金国際会議場，1998年10月30日
- 「山と日本人」森町市民講座：森町文化会館（静岡県），1998年11月13日
- 「巫女と男巫のはざま」研究プロジェクト〈アイデンティティ・周縁・媒介〉フランス国立極東学院との共同討論会：第3回「表象体系と社会」フランス極東学院：パリ日本文化会館（パリ），1998年11月17日
- 「来訪神」国際交流基金アジア理解講座「中国少数民族の民俗芸能から」国際交流基金国際会議場，1999年2月15日
- 「神がかり・人・自然」成城大学特別講義，1999年7月5日

- 「神・身体・自然」日本民俗学会第51回大会シンポジウム：神奈川大学，1999年10月
- 「追儺の系譜」大宰府講演会：大宰府市中央区民館，1999年12月4日
- 「民俗芸能〈調査研究の最近の動向（4）〉」平成11年度歴史民俗資料館等専門職員研修会：国立歴史民俗博物館，1999年12月12日
- 「修行一己を鍛える①」朝日カルチャーセンター「日本宗教文化の諸相」朝日カルチャーセンター（横浜），2000年5月12日
- “The Present Condition of Japanese Studies: From the Perspective of Folklore Studies”, Colloquium: Perspective on Asian Studies: In Commemoration of the One-Hundredth Anniversary of École Française d'Extrême-Orient, Japan Foundation International Conference Hall, 「日本研究の現状—民俗学を中心として」フランス国立極東学院創立百周年記念コロキウム：国際交流基金国際会議場）2000年5月25日
- 「修行一己を鍛える②」朝日カルチャーセンター「日本宗教文化の諸相」：朝日カルチャーセンター（横浜），2000年6月9日
- 「霊と神」日本南アジア学会第13回学術大会・シンポジウム「霊と神」：東京大学，2000年10月8日
- 「神楽の諸相」南山大学人類学研究所談話会：南山大学，2000年10月21日
- 「山と海，火と水—修験と巡礼の熊野—」熊野シンポジウム—祝祭の地，熊野への誘い：銀座ガスホール，2000年10月25日
- 「コメント：宗教が創り出す新しい絆」「宗教と社会」学会第9回学術大会，ワークショップ「宗教が創り出す新しい絆」：慶應義塾大学，2001年6月17日
- 「コメント：歴史における空間と境界」シンポジウム「歴史における空間と境界」：日仏会館，2001年7月7日
- 「神楽と巫覡」巫覡盲僧学会シンポジウム「神楽と巫覡」：盛岡大学，2001年7月29日
- 「ハママーンとサルタヒコ」サルタヒコ・シンポジウム「世界神話とサルタヒコ」サルタヒコ大神フォーラム：井深ホール，2001年10月4日
- 「首狩りからツーリズムへ—ナガランドの現在—」インド考古研究会2003年夏期セミナー：八王子大学セミナーハウス，2003年9月13日
- 「南インドのシャーマニズム—カルナータカ州のプータの場合—」駒澤宗教学研究会公開講演：駒澤大学，2003年10月16日
- 「来訪神と祖先祭祀—西南中国の事例から—」巫覡盲僧学会2003年度大会 公開講演会：石垣市市立図書館視聴覚ホール，2003年11月15日
- 「民族・宗教から見た東アジア」慶應義塾大学東アジア研究所講座「世界のなかの東アジア」：慶應義塾大学，2004年6月23日
- “Mountain Worship and Gender”, 19th The International Association for the History of Religions (IAHR) 「山岳信仰とジェンダー」第19回世界宗教学宗教史会議：高輪プリンスホテル，2005年3月27日
- 「流転するラーマ—ヤナー叙事詩と説話と芸能—」説話・伝承学会2005年大会：立命館大学，2005年5月1日
- 「遊佐の村々の祭り—人形の民俗—」遊佐文化塾：遊佐町市民会館，2005年6月25日

- 「コメント：東アジアにおける宗教の位置」日本宗教学会第64回学術大会：関西大学，2005年9月10日
- 「人形の民俗—遊佐のヤサラの場合—」日本民俗学会第57回年会：東京大学（駒場），2005年10月9日
- 「日本の山岳信仰—自然観と他界観をめぐって—」船橋市民講座：船橋市郷土資料館，2005年11月26日
- 「ナガランドを旅して」ナマステ・インディア2006：たばこと塩の博物館，2006年9月24日
- 「苗族の正月風景」第52回日本口承文藝学会例会：慶應義塾大学，2006年10月21日
- 「日本の祭祀芸能における遠山霜月祭の位置」企画展『遠山霜月祭の世界—神・人・ムラのよみがえり—』講演会 飯田市美術博物館，2006年10月29日
- 「湯立神楽と熊野信仰」国際熊野学会・日本宗教民俗学会合同研究会：国際熊野学会・日本宗教民俗学会：大谷大学，2006年11月25日
- 「神がかりから芸能へ—カルナータカのプーター」国際交流基金異文化理解講座「インド・神話と芸能—神々を演じる人々—」国際交流基金国際会議場，2007年9月27日
- 「コメント：仏教と民俗」日本民俗学会第59回年会 シンポジウム「仏教と民俗」：大谷大学，2007年10月6日
- “Kumano Beliefs and Yudate Kagura Performance”, *Shugendo: the History and Culture of a Japanese Religion*; Columbia Center for Japanese Religion, Columbia University; New York, 2008年4月26日
- 「慶應義塾大学における文化人類学の研究と教育」2008年三田社会学会大会：慶應義塾大学，2008年7月12日
- 「日本宗教と儀礼テキスト—テキストとして読む民俗宗教—」日本における宗教テキストの諸位相と統辞法，名古屋大学グローバルCOE「テキスト布置の解釈学的研究と教育」第4回国際研究集会：名古屋大学，2008年7月20日
- 『『田公堂』木偶戯について』首届・上杭水竹洋「田公堂」木偶芸術節既学術討論会，中共白砂鎮委員会：上杭白砂鎮政府（福建省），2008年7月27日
- 「聖地・熊野の真髓」第2回熊野学フォーラム「熊野の世界遺産の魅力を語る」国際熊野学会：明治大学，2009年1月10日
- 「企画公演『特集・梓弓』解説」国立能楽堂，2009年4月29日
- 「コメント：地域研究とオーラルヒストリー」2009年三田社会学会大会シンポジウム「地域研究とオーラルヒストリー」：慶應義塾大学，2009年7月11日
- 「女人禁制をめぐる諸問題」女性をとりまく宗教世界（第7回 石川の歴史遺産セミナー）石川県立歴史博物館，2009年7月29日
- 「湯立神楽のコスモロジー—遠山霜月祭を中心に—」比較神話学シンポジウム，比較神話学研究会：南山大學，2010年1月5日
- 「聖地・熊野の真髓」熊野三山歴史講座：世界遺産熊野本宮館，2010年1月21日
- 「変貌するインドの民衆文化」平成22年度沼津市民大学：沼津市役所，2010年7月15日
- 「神話の歴史化と民族の再構築—中国ミャオ族の変容—」早稲田文化人類学会第14回研究集会：早稲田文化人類学会：早稲田大学，2011年7月23日
- The Study on the Landscape in Japan, 道の宗教性と聖地景観が創り出す想像力の比較研究，トゥールーズ大学社会人類学研究所：Université de Toulouse-le-Mirail, 2011年9月12日
- “The Cosmology of the Yudate Kagura: Reflections on the Tōyama Shimotsuki Matsuri”, *Japanese*

- Buddhism and Folk Performing Arts (Geino)*, コロンビア大学日本宗教センター: Columbia Center for Japanese Religion: Columbia University, Proceedings. pp. 237-261, 2011年10月15日
- 「神話的歴史化与民族的再構築—中国苗族の変容—」西南民族文化与教育の人類学研究: 西南大学西南民族教育与心理研究中心 (中国・重慶), 2011年11月5日
- 「コメント: 「吉野晃『タイ北部, ユーミエン (ヤオ) の船送り』」カラダが語る人類文化—形質から文化まで—: 国際常民文化研究機構, 予稿集 (97-98頁): 神奈川大学, 2011年, 12月11日
- 「湯立神楽のコスモロジー—遠山霜月祭の考察—」公開シンポジウム「花祭の保存・伝承と地域連携I」日本文化人類学会中部地区例会: 野依記念学術交流館, 2012年1月21日
- 「修験道」儀礼文化講座, 儀礼文化学会: 儀礼文化学会研修室, 2012年2月12日
- 「山と日本人—修験道を中心として—」浅草寺仏教文化講座: 明治安田ホール, 2012年5月21日
- 「変貌するインドの民衆文化」日印協会講演会: 日印協会事務所, 2012年6月29日
- 「戸隠信仰と修験道」平成24年度国際熊野学会・東京例会: 旅館松倉 (長野市戸隠), 2012年8月1日
- 「伝承を持続させるものとは何か」日本民俗学会第64回年会・シンポジウム「伝承」, 予稿集 (15-16頁): 東京学芸大学, 2012年10月6日
- 「中世の戸隠と修験道の展開—『顕光寺流記』を読み解く—」東京大学東洋文化研究所セミナー「仏教儀礼の成立と展開に関する総合的研究」: 東京大学東洋文化研究所第1会議室, 2012年11月25日
- 「コメント: シンポジウム『民族学と民俗学の相互連関』」国際常民文化研究機構: 神奈川大学, 2012年12月9日
- 「修験道は民族宗教か?—宗教人類学の立場から—」日本宗教学会第72回学術大会: 國學院大學, 2013年9月7日
- 「コメント: 岩田慶治先生追悼シンポジウム『草木虫魚と向きあう』」: 国立民族学博物館, 2013年10月19日
- 「コメント: シンポジウム『太宰府をめぐる山々と海彼』」第34回日本山岳修験学会 大宰府・宝満山学術大会: 国立九州博物館, 2013年10月26日
- 「シルクロードから学んだもの—1971年の旅から—」比較神話学シンポジウム—シルクロードの神話学—, 比較神話学研究会: 奈良新公会堂, 2013年12月23日
- 「東アジアと南アジアのはざま—地域研究の行方を探る—」慶應義塾大学東アジア研究所10周年 (地域研究センター30周年) 記念講演会「アジア・アフリカ研究—現在と過去の対話—」慶應義塾大学 (三田) 北館ホール, 2014年2月28日
- 「コメント: 湯殿山信仰と即身仏」日本宗教・日本文化研究専攻の大学院セミナー (CIRセミナー2014): 宗教情報センター (友心院), 2014年6月15日
- 「仏教寺院の近代化と地域社会—福岡県篠栗町の事例から—」東北民俗の会公開講演会: 東北大学エスパス, 2014年6月21日
- 「ミャオ族の歴史と文化の動態—中国南部山地民の想像力の変容—」第29回雲南懇話会: JACA研究所 国際会議場, 2014年6月28日
- 「山岳信仰から修験道へ—出羽三山と鳥海山の縁起を読み解く—」企画展「未来に伝える山形の宝—精神と美—」記念講演会: 山形県立博物館, 2014年8月23日
- 「羽黒修験」第5回 庄内セミナー「生きることを考える—庄内に学ぶ生命—」(慶應義塾大学教養研究

センター主催): 国民休暇村羽黒, 2014年8月30日

「創世神話と王権神話—アジアの視点から—」『古事記』の学際的・国際的研究講演会: 國學院大學, 2014年10月25日

「門前町に生きる—過去・現在・未来—」成田市歴史講演会: 成田市役所, 2014年11月30日

「講集団と門前町—成田の調査から見えてきたもの—」講研究会第1回公開シンポジウム: 駒澤大学, 2014年12月13日

「コメント: 大元神楽の今 文化科学研究科学術交流フォーラム2014研究公演『石見 大元神楽』: 国立民族学博物館, 2014年12月21日

「石見大元神楽の魅力—受け継がれる舞と神事—」あぜくらの集い: 国立劇場伝統芸能情報館, 2015年5月28日

「宗教民俗研究の課題—成田山門前町を事例として—」第45回東海民俗研究発表大会: 名古屋市立博物館講堂, 2015年6月14日

「成田山門前町」2015年度山本敏夫記念文学部基金講座: 現代社会と宗教 [聖地とツーリズム14] 慶應義塾大学 (三田) 南校舎, 2015年7月15日

「都市の祭り」と地域社会」森町文化講演会, 森町教育委員会・森町文化協会: 森町会議室 (静岡県), 2015年8月2日

メディア監修・協力 (テレビその他)

「聖地キャンディ (スリランカ)」TBS世界遺産 第175回, 1999年10月31日

「古代都市シーギリヤ (スリランカ)」TBS世界遺産 第176回, 1999年11月7日

「ゴール旧市街地と要塞 (スリランカ)」TBS世界遺産 第192回, 2000年3月5日

「ダンブッラの黄金寺院 (スリランカ)」TBS世界遺産 第253回, 2001年5月20日

「古都ポロンナルワ (スリランカ)」TBS世界遺産 第259回, 2001年7月1日

「宗教都市アヌラダプラ (スリランカ)」TBS世界遺産 第376回, 2003年11月30日

「スリランカ・聖地キャンディ—ゾウ70頭がキラキラ輝く夜に」NHK総合・探検ロマン世界遺産, 2008年10月25日

「古代都市シーギリヤ (スリランカ)」NHK総合・世界遺産 第54回, 2012年5月6日

「中国貴州省・長角ミャオ族」TBS・所さんの世界のビックリ村!—こんなトコロになぜ?—, 2014年12月27日